

四万十市 子育てに関するニーズ調査
【結果報告書】

平成 26 年3月

四万十市

目 次

1	調査の概要	1
1	調査の目的.....	2
2	調査概要.....	2
3	報告書の見方.....	2
2	調査結果(未就学児童調査・小学生児童調査)	3
	あて名のお子さんご家族の状況.....	4
	子どもの育ちをめぐる環境.....	8
	あて名のお子さんの保護者の就労状況.....	16
	あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用(未就学児童).....	24
	あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況(未就学児童).....	32
	あて名のお子さんの土曜日・日曜日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望(未就学児童).....	34
	あて名のお子さんの病気の際の対応(未就学児童は平日の教育・保育を利用する方のみ).....	38
	あて名のお子さんの不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用(未就学児童).....	43
	一時預かり等の利用(未就学児童).....	43
	5歳以上のあて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方(未就学児童).....	48
	あて名のお子さんの放課後の過ごし方(小学生児童).....	53
	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度(未就学児童).....	58
	子育て全般について.....	64
	行政への要望について.....	68

1

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、平成 27 年度から始まる「四万十市子ども・子育て支援事業計画」の策定資料として、保育ニーズや四万十市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に行いました。

2 調査概要

- 調査対象者：四万十市内在住の「未就学児童」をお持ちの世帯・保護者（未就学児童調査）
四万十市内在住の「小学生児童」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- 調査期間：平成 26 年 1 月 14 日（火）～平成 26 年 1 月 27 日（月）
- 調査方法：

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
未就学児童	1,330 件	898 件	67.5%
小学生児童	780 件	635 件	81.4%
合計	2,110 件	1,533 件	72.6%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

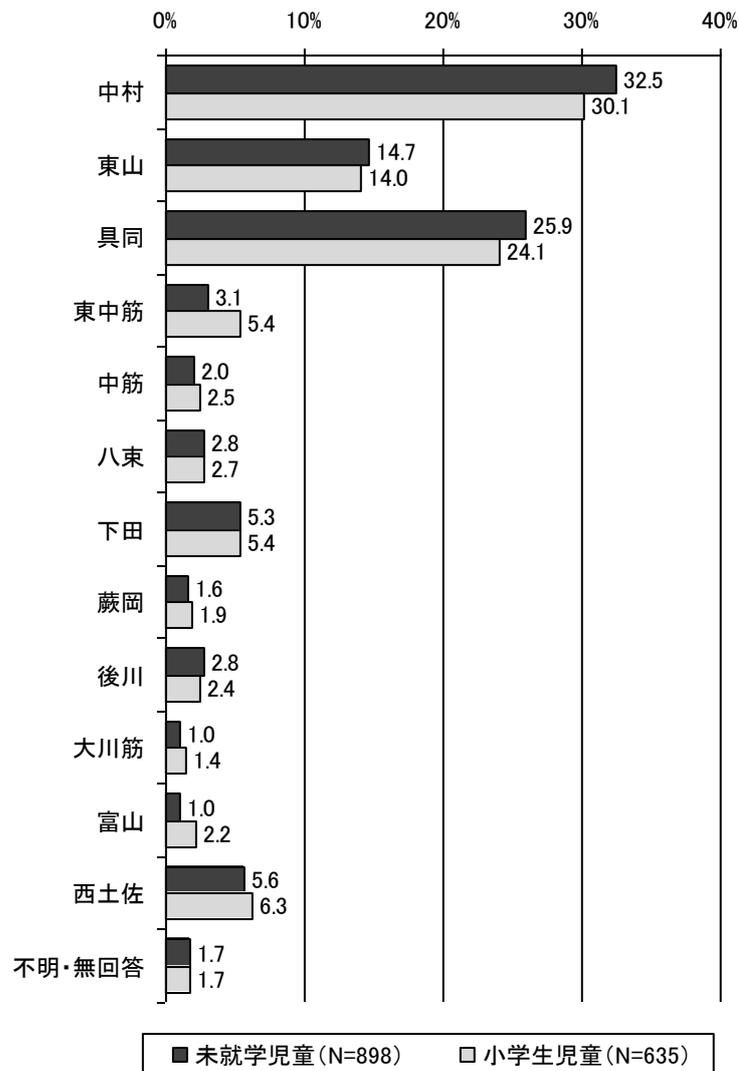
2

調査結果（未就学児調査・小学生調査）

あて名のお子さんご家族の状況

(1) 居住地区〈単数回答〉〔未就学児童調査・小学生児童調査…問1〕

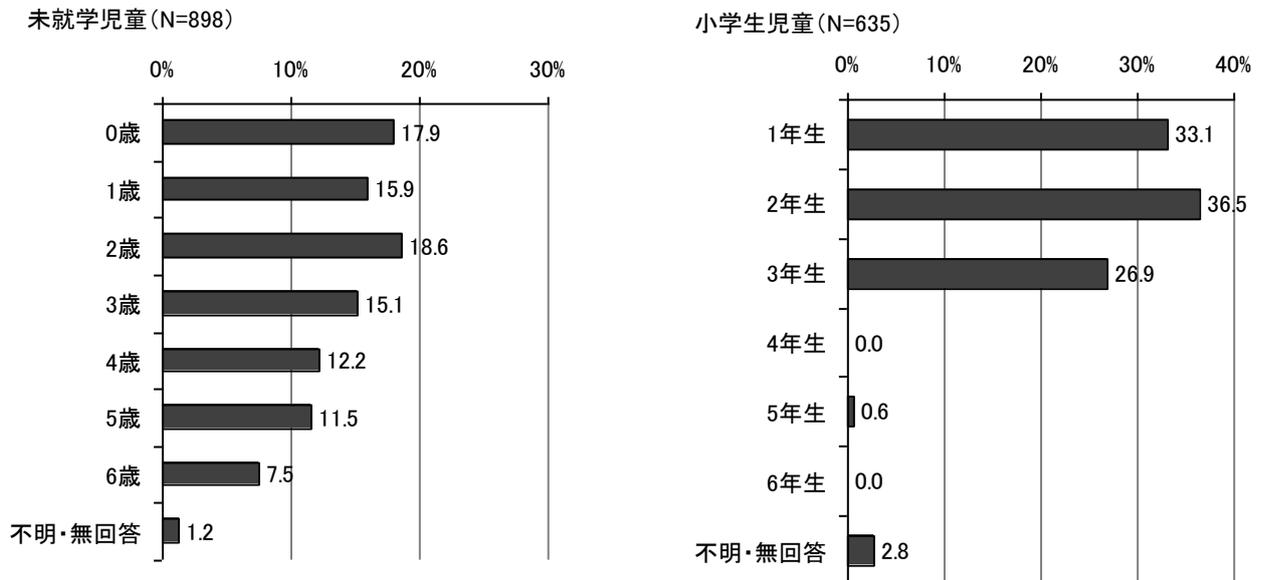
居住地区についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「中村」が、それぞれ 32.5%、30.1%と最も高くなっています。



(2) 対象の子どもの年齢と学年〈数量回答〉

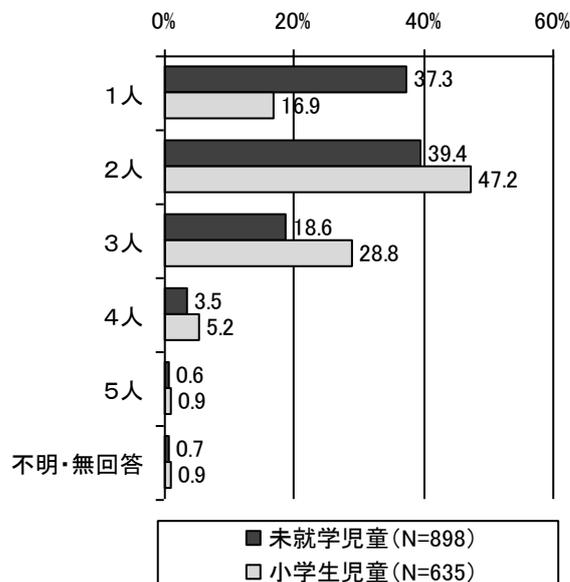
〔未就学児童調査・小学生児童調査…問2〕

未就学児童の年齢についてみると、2歳が18.6%、0歳が17.9%、1歳が15.9%となっています。また、小学生児童の学年については、2年生が36.5%、1年生が33.1%、3年生が26.9%となっています。



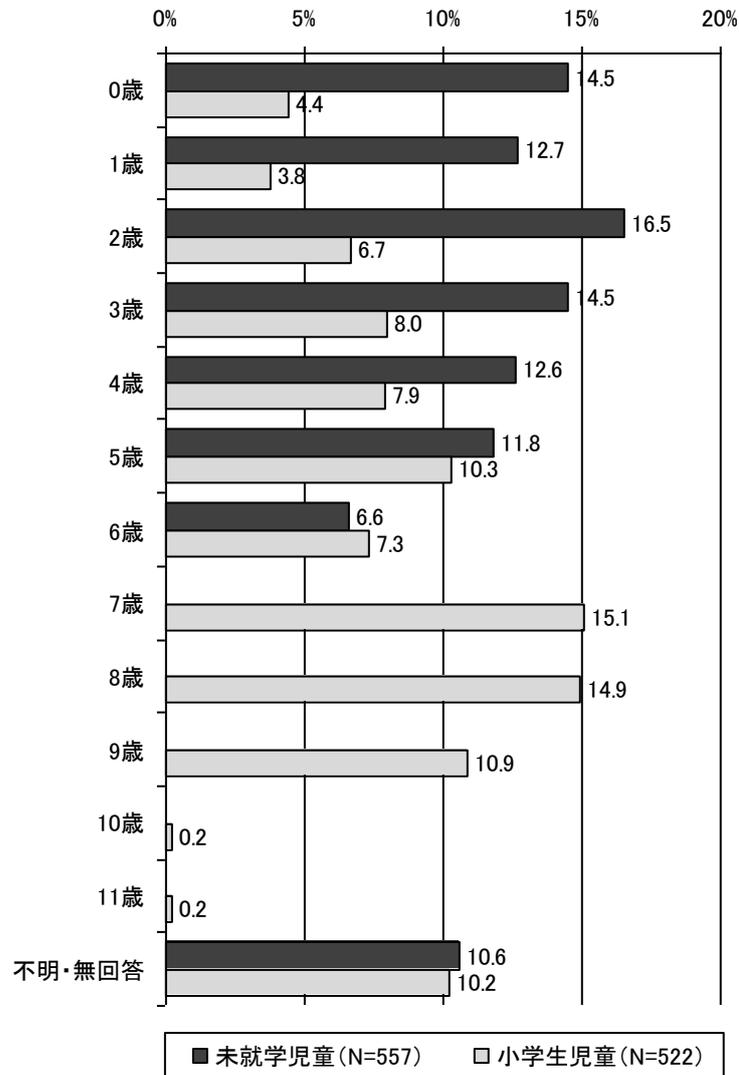
(3) 子どもの人数〈数量回答〉〔未就学児童調査・小学生児童調査…問3〕

子どもの人数についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「2人」が最も高く、それぞれ39.4%、47.2%となっています。次いで、未就学児童は「1人」が37.3%、小学生児童は「3人」が28.8%となっています。



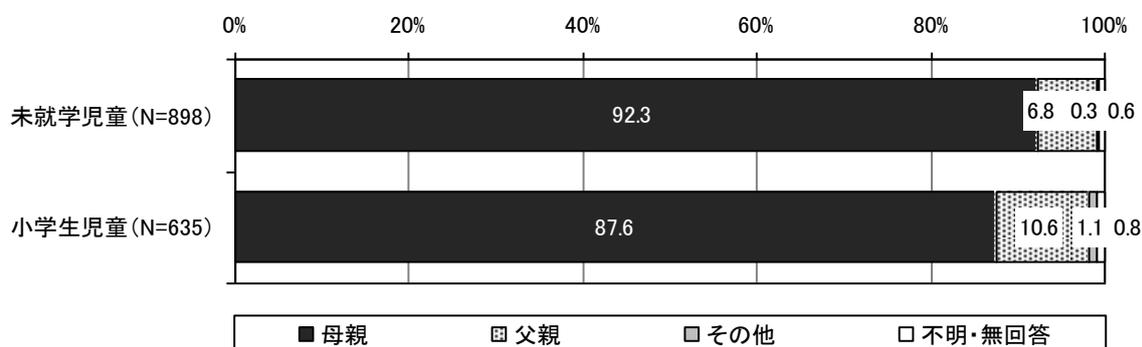
子どもが2人以上いる場合の末子の年齢についてみると、未就学児童は「2歳」が16.5%と最も高く、次いで、「0歳」と「3歳」が14.5%となっています。小学生児童は「7歳」が15.1%と最も高く、次いで、「8歳」が14.9%、「9歳」が10.9%となっています。

◎子どもが2人以上いる場合の末子の年齢〈数量回答〉



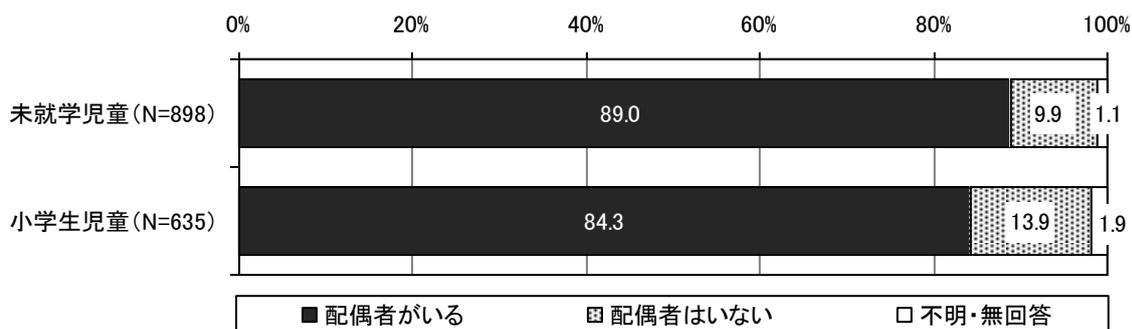
(4) 調査票の回答者〈単数回答〉〔未就学児童調査・小学生児童調査…問4〕

回答者についてみると、「母親」が未就学児童は92.3%、小学生児童は87.6%と最も高く、大部分を占めています。



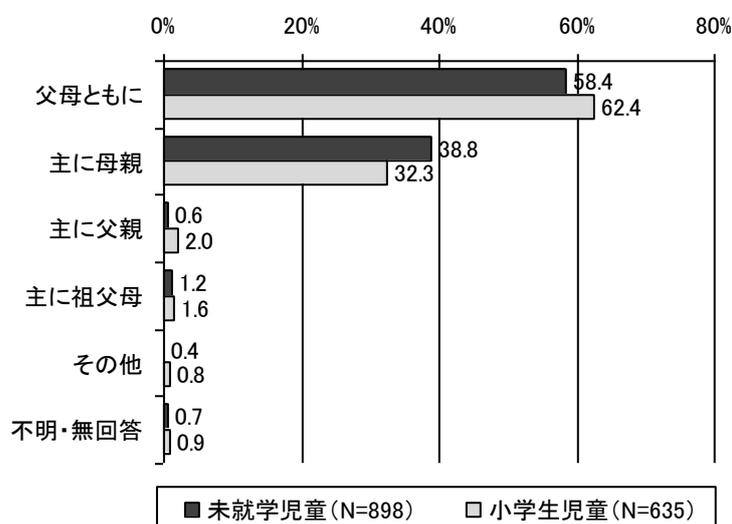
(5) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔未就学児童調査・小学生児童調査…問5〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「配偶者がいる」が未就学児童は89.0%、小学生児童は84.3%となっています。



(6) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔未就学児童調査・小学生児童調査…問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「父母ともに」が最も高く、それぞれ58.4%、62.4%となっています。次いで、「主に母親」が未就学児童は38.8%、小学生児童は32.3%となっています。



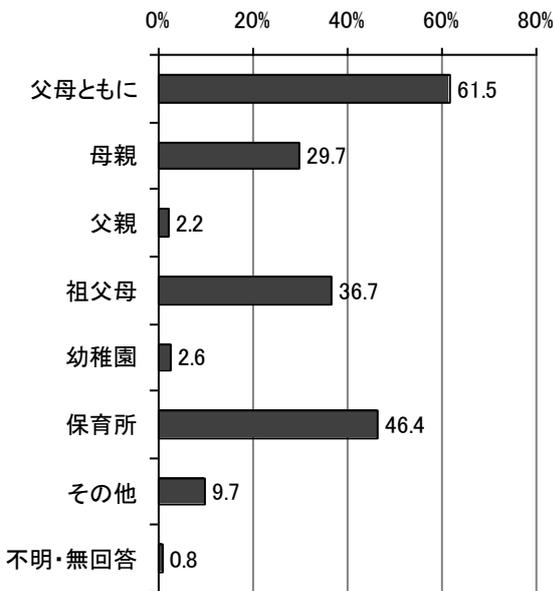
子どもの育ちをめぐる環境

(1) 子育てに日常的に関わっている方(施設)〈複数回答〉

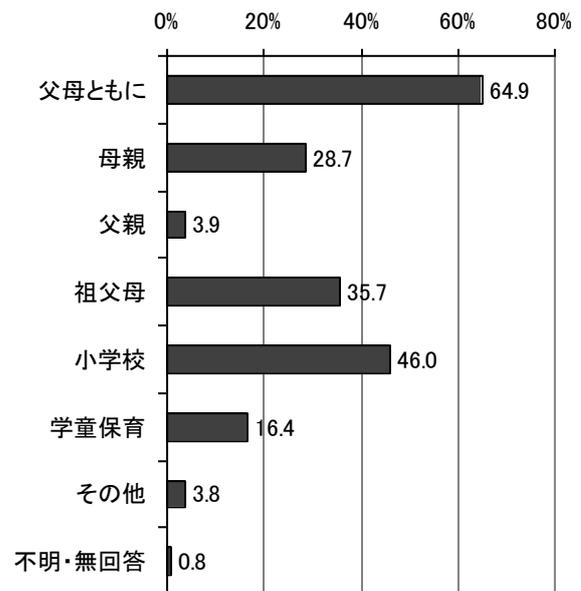
〔未就学児童調査・小学生児童調査…問7〕

子育てに日常的に関わっている方(施設)についてみると、「父母ともに」が未就学児童は61.5%、小学生児童は64.9%と最も高くなっています。次いで、未就学児童は「保育所」が46.4%、小学生児童は「小学校」が46.0%となっています。

未就学児童(N=898)



小学生児童(N=635)

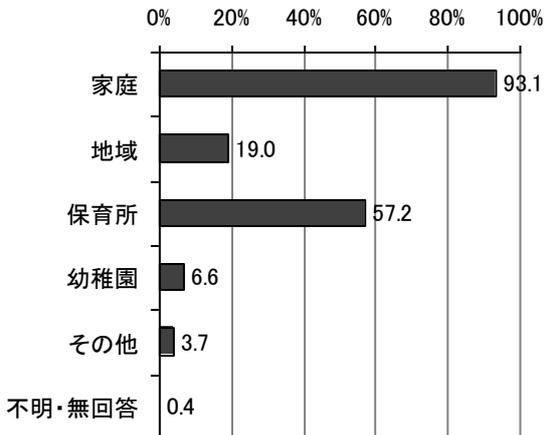


(2) 子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

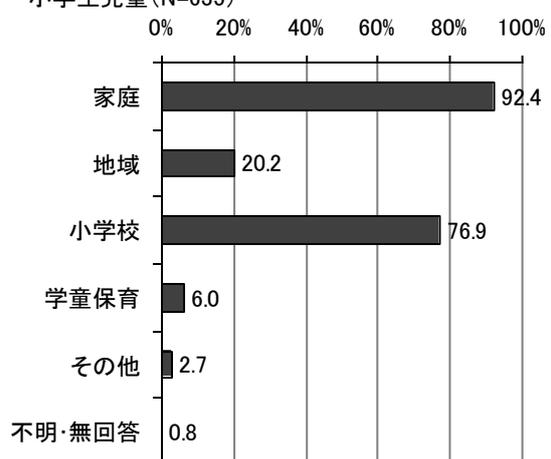
〔未就学児童調査・小学生児童調査…問8〕

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が未就学児童は93.1%、小学生児童は92.4%と最も高くなっています。次いで、未就学児童は「保育所」が57.2%、小学生児童は「小学校」が76.9%となっています。

未就学児童(N=898)



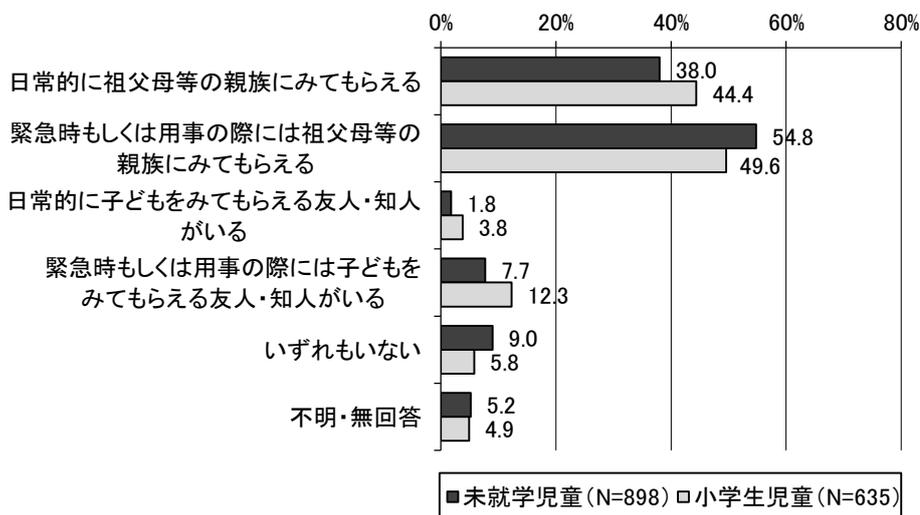
小学生児童(N=635)



(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

[未就学児童調査・小学生児童調査…問9]

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が未就学児童は 54.8%、小学生児童は 49.6%と最も高くなっています。次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が未就学児童は 38.0%、小学生児童は 44.4%となっています。

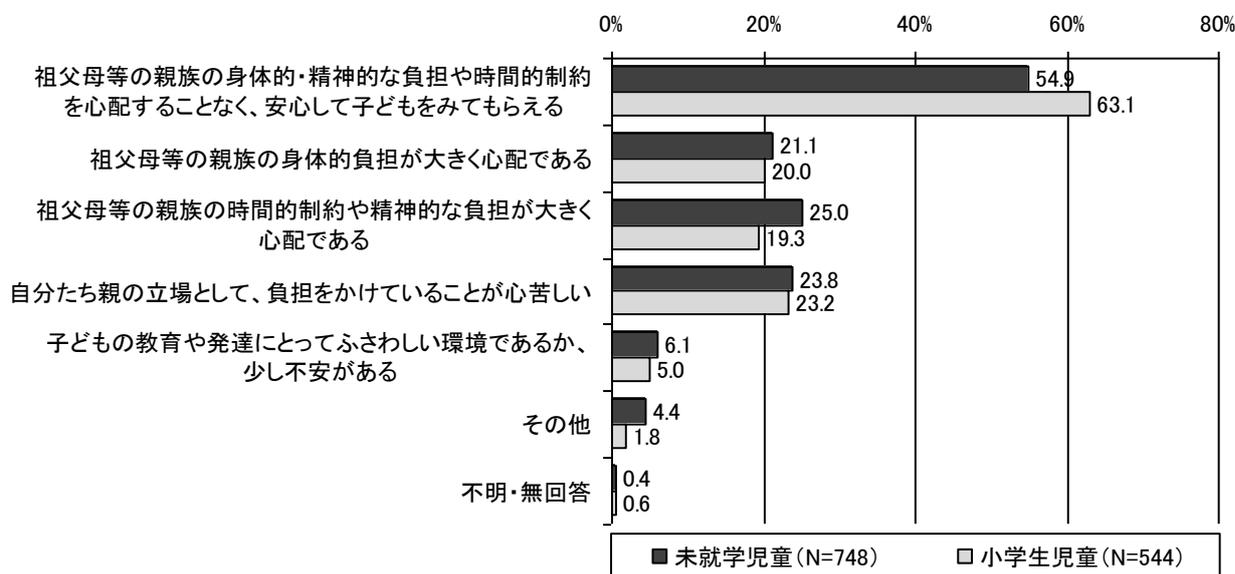


(3) で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

(3) - 1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

[未就学児童調査・小学生児童調査…問9-1]

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が未就学児童は 54.9%、小学生児童は 63.1%と最も高く、次いで、未就学児童は「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 25.0%、小学生児童は「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 23.2%となっています。

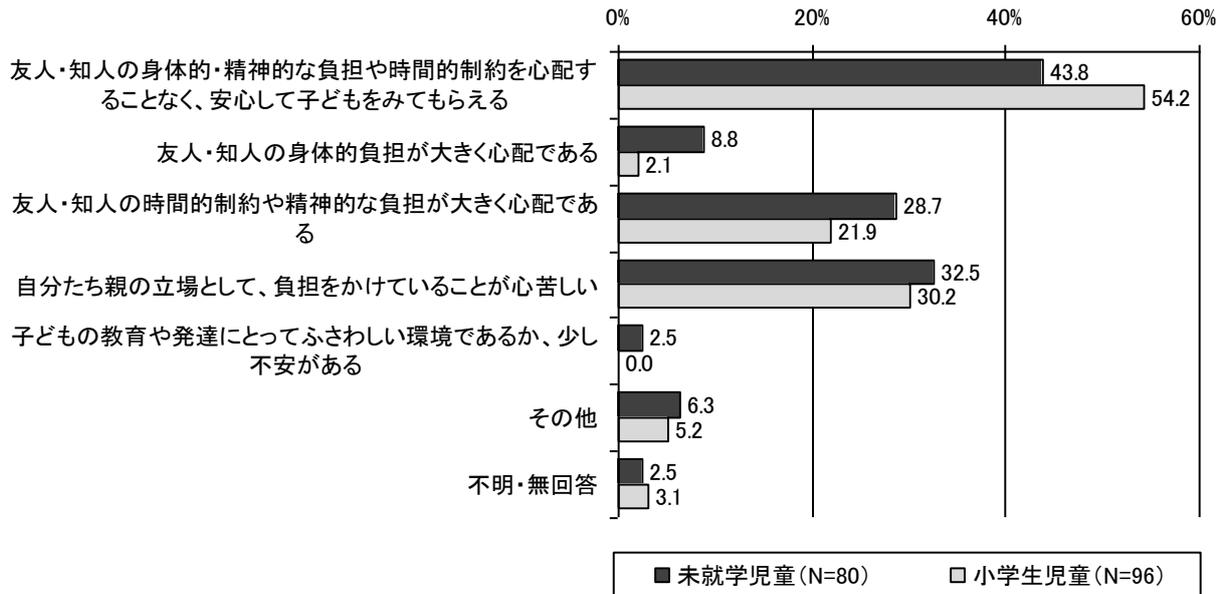


(3)で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

(3)－2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

[未就学児童調査・小学生児童調査…問9－2]

友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が未就学児童は43.8%、小学生児童は54.2%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が未就学児童は32.5%、小学生児童は30.2%となっています。



地区別 × 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人の有無

[地区別×未就学児童調査・小学生児童調査…問9／クロス]

地区別にみると、未就学児童では、『中筋』、『下田』、『富山』は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、『中村』、『東山』、『具同』、『東中筋』、『八束』、『後川』、『大川筋』、『西土佐』は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。また、『蕨岡』は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が同率で高くなっています。

一方で、『中村』、『具同』、『富山』は、「いずれもない」の割合が1割を超えています。

◎未就学児童

上段:件数 下段:%	合計	親日常的に祖父母等のみてもらう	親の緊急時には祖父母等のみてもらえる	みてもらえる友人・知人がいる	みてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	不明・無回答
合計	898 100.0	341 38.0	492 54.8	16 1.8	69 7.7	81 9.0	47 5.2
中村	292 100.0	96 32.9	171 58.6	6 2.1	24 8.2	34 11.6	12 4.1
東山	132 100.0	53 40.2	70 53.0	- -	10 7.6	8 6.1	10 7.6
具同	233 100.0	78 33.5	131 56.2	6 2.6	15 6.4	26 11.2	7 3.0
東中筋	28 100.0	11 39.3	14 50.0	1 3.6	4 14.3	2 7.1	1 3.6
中筋	18 100.0	12 66.7	8 44.4	- -	- -	1 5.6	1 5.6
八束	25 100.0	12 48.0	13 52.0	- -	1 4.0	1 4.0	3 12.0
下田	48 100.0	30 62.5	23 47.9	1 2.1	5 10.4	1 2.1	4 8.3
蕨岡	14 100.0	8 57.1	8 57.1	1 7.1	2 14.3	- -	1 7.1
後川	25 100.0	10 40.0	14 56.0	- -	- -	2 8.0	1 4.0
大川筋	9 100.0	4 44.4	5 55.6	- -	2 22.2	- -	- -
富山	9 100.0	5 55.6	3 33.3	- -	2 22.2	1 11.1	- -
西土佐	50 100.0	20 40.0	26 52.0	1 2.0	2 4.0	4 8.0	2 4.0
不明・無回答	15 100.0	2 13.3	6 40.0	- -	2 13.3	1 6.7	5 33.3

地区別にみると、小学生児童では、『中筋』、『八束』、『下田』、『蕨岡』、『後川』、『大川筋』、『富山』、『西土佐』は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」、『中村』、『東山』、『具同』、『東中筋』は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が高くなっています。

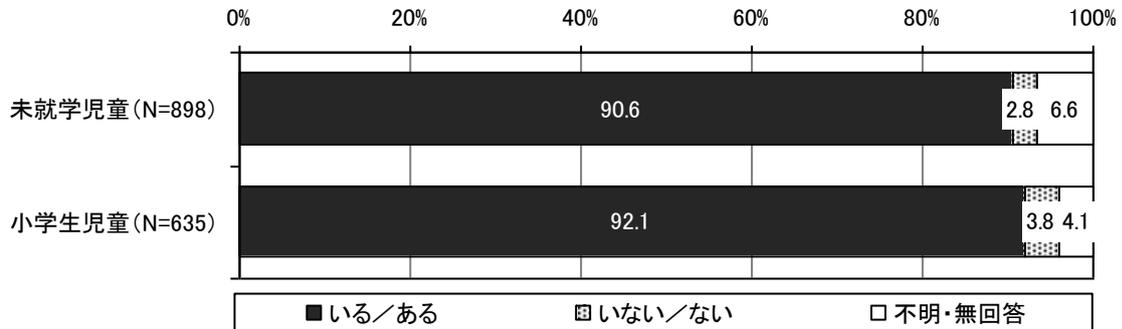
◎小学生児童

上段:件数 下段:%	合計	親日常的に祖父母等 にみてもらえる	親の緊急時には祖父母等 のみにみてもらえる	日常的に子どもを みてもらえる友人・ 知人がいる	緊急時もしくは用事 の際には子どもを みてもらえる友人・ 知人がいる	いずれもない	不明・無回答
合計	635 100.0	282 44.4	315 49.6	24 3.8	78 12.3	37 5.8	31 4.9
中村	191 100.0	78 40.8	103 53.9	8 4.2	23 12.0	14 7.3	3 1.6
東山	89 100.0	33 37.1	49 55.1	5 5.6	6 6.7	6 6.7	6 6.7
具同	153 100.0	62 40.5	77 50.3	7 4.6	26 17.0	6 3.9	10 6.5
東中筋	34 100.0	16 47.1	18 52.9	2 5.9	5 14.7	2 5.9	1 2.9
中筋	16 100.0	11 68.8	8 50.0	- -	- -	1 6.3	- -
八束	17 100.0	11 64.7	5 29.4	- -	- -	- -	2 11.8
下田	34 100.0	20 58.8	15 44.1	1 2.9	5 14.7	2 5.9	2 5.9
蕨岡	12 100.0	6 50.0	5 41.7	- -	1 8.3	1 8.3	- -
後川	15 100.0	8 53.3	5 33.3	- -	1 6.7	1 6.7	1 6.7
大川筋	9 100.0	5 55.6	3 33.3	- -	3 33.3	- -	1 11.1
富山	14 100.0	8 57.1	5 35.7	- -	3 21.4	- -	1 7.1
西土佐	40 100.0	22 55.0	18 45.0	1 2.5	5 12.5	3 7.5	- -
不明・無回答	11 100.0	2 18.2	4 36.4	- -	- -	1 9.1	4 36.4

(4) 子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無〈単数回答〉

〔未就学児童調査・小学生児童調査…問 10〕

子育てをする上での相談相手(場所)の有無についてみると、「いる／ある」が未就学児童は 90.6%、小学生児童は 92.1%となっています。

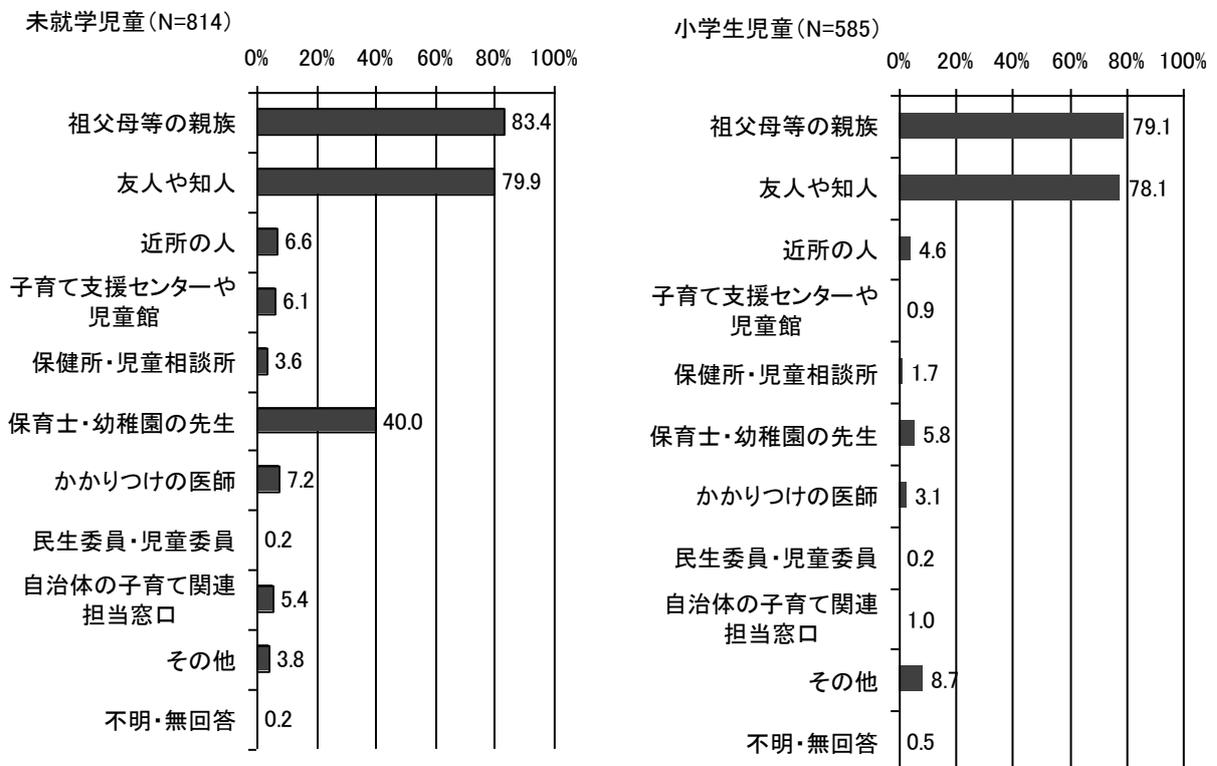


(4) で「いる／ある」を選んだ方

(4) - 1 気軽に相談できる先〈複数回答〉

〔未就学児童調査・小学生児童調査…問 10-1〕

子育てをする上での相談相手(場所)についてみると、「祖父母等の親族」が未就学児童は 83.4%、小学生児童は 79.1%と最も高く、次いで、「友人や知人」が未就学児童は 79.9%、小学生児童は 78.1%となっています。



地区別 × 子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無

[地区別 × 未就学児童調査・小学生児童調査…問 10-1 / クロス]

地区別にみると、未就学児童では、すべての地区で「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高くなっています。また、「保育士・幼稚園の先生」の割合は、すべての地区で3割を超えています。

◎未就学児童

上段:件数 下段:%	合計	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援センターや児童館	保健所・児童相談所	保育士・幼稚園の先生	かかりつけの医師	民生委員・児童委員	自治体の子育て関連担当窓口	その他	不明・無回答
合計	814 100.0	679 83.4	650 79.9	54 6.6	50 6.1	29 3.6	326 40.0	59 7.2	2 0.2	44 5.4	31 3.8	2 0.2
中村	266 100.0	216 81.2	217 81.6	12 4.5	24 9.0	11 4.1	98 36.8	18 6.8	1 0.4	18 6.8	12 4.5	1 0.4
東山	121 100.0	101 83.5	102 84.3	5 4.1	6 5.0	2 1.7	42 34.7	14 11.6	-	4 3.3	7 5.8	-
具同	209 100.0	176 84.2	162 77.5	12 5.7	17 8.1	9 4.3	83 39.7	14 6.7	-	8 3.8	3 1.4	1 0.5
東中筋	24 100.0	18 75.0	20 83.3	4 16.7	-	-	11 45.8	2 8.3	-	2 8.3	-	-
中筋	18 100.0	16 88.9	13 72.2	-	-	-	8 44.4	-	-	-	1 5.6	-
八束	23 100.0	19 82.6	20 87.0	1 4.3	-	1 4.3	11 47.8	3 13.0	-	1 4.3	2 8.7	-
下田	42 100.0	40 95.2	34 81.0	5 11.9	1 2.4	2 4.8	21 50.0	2 4.8	-	3 7.1	2 4.8	-
蕨岡	13 100.0	12 92.3	11 84.6	5 38.5	1 7.7	1 7.7	5 38.5	2 15.4	-	1 7.7	-	-
後川	24 100.0	23 95.8	16 66.7	2 8.3	-	1 4.2	11 45.8	2 8.3	-	1 4.2	-	-
大川筋	9 100.0	7 77.8	9 100.0	1 11.1	1 11.1	-	4 44.4	-	-	1 11.1	-	-
富山	8 100.0	7 87.5	7 87.5	2 25.0	-	-	4 50.0	1 12.5	-	1 12.5	-	-
西土佐	45 100.0	34 75.6	30 66.7	4 8.9	-	1 2.2	22 48.9	-	1 2.2	3 6.7	3 6.7	-
不明・無回答	12 100.0	10 83.3	9 75.0	1 8.3	-	1 8.3	6 50.0	1 8.3	-	1 8.3	1 8.3	-

地区別にみると、小学生児童でも、すべての地区で「祖父母等の親族」、「友人や知人」の割合が高くなっています。

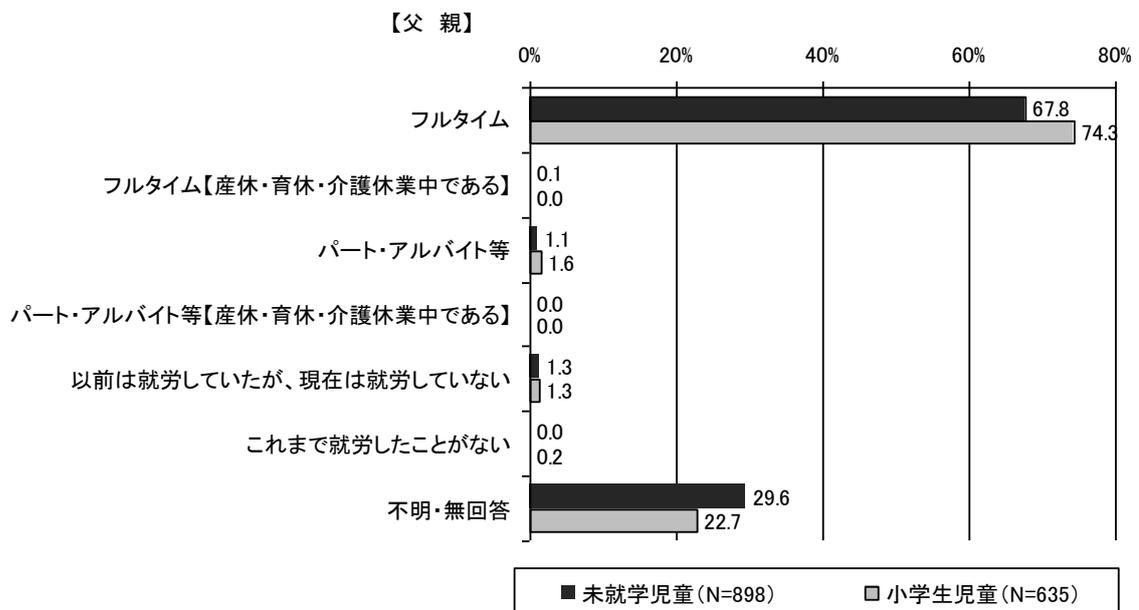
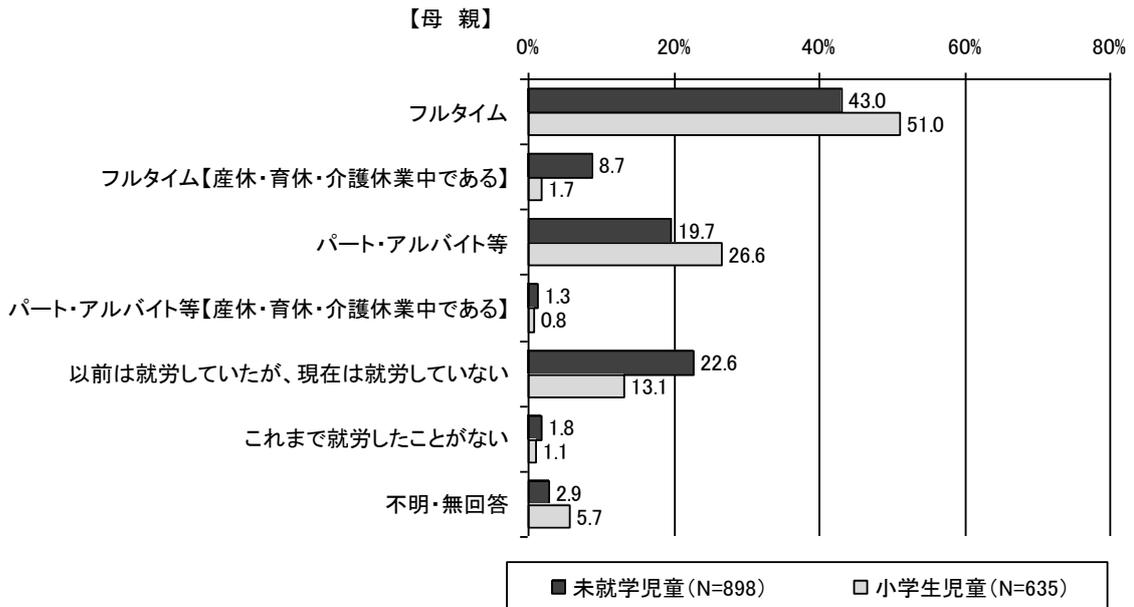
◎小学生児童

上段:件数 下段:%	合計	祖父母等の親族	友人や知人	近所の人	子育て支援センターや児童館	保健所・児童相談所	保育士・幼稚園の先生	かかりつけの医師	民生委員・児童委員	自治体の子育て関連担当窓口	その他	不明・無回答
合計	585 100.0	463 79.1	457 78.1	27 4.6	5 0.9	10 1.7	34 5.8	18 3.1	1 0.2	6 1.0	51 8.7	3 0.5
中村	174 100.0	140 80.5	128 73.6	5 2.9	2 1.1	5 2.9	13 7.5	3 1.7	1 0.6	1 0.6	17 9.8	1 0.6
東山	86 100.0	57 66.3	70 81.4	2 2.3	1 1.2	- -	2 2.3	3 3.5	- -	- -	5 5.8	1 1.2
具同	142 100.0	117 82.4	117 82.4	6 4.2	- -	2 1.4	9 6.3	7 4.9	- -	- -	10 7.0	- -
東中筋	33 100.0	28 84.8	27 81.8	1 3.0	- -	- -	1 3.0	1 3.0	- -	1 3.0	3 9.1	- -
中筋	16 100.0	13 81.3	13 81.3	- -	- -	- -	2 12.5	- -	- -	- -	1 6.3	- -
八束	15 100.0	14 93.3	11 73.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3	1 6.7	- -	1 6.7	- -	- -
下田	33 100.0	25 75.8	23 69.7	3 9.1	- -	1 3.0	- -	- -	- -	1 3.0	7 21.2	- -
藤岡	12 100.0	8 66.7	10 83.3	1 8.3	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 8.3	- -
後川	13 100.0	13 100.0	10 76.9	1 7.7	- -	- -	- -	1 7.7	- -	- -	- -	- -
大川筋	8 100.0	6 75.0	7 87.5	1 12.5	1 12.5	- -	1 12.5	- -	- -	- -	3 37.5	- -
富山	11 100.0	9 81.8	9 81.8	- -	- -	- -	3 27.3	- -	- -	- -	2 18.2	- -
西土佐	32 100.0	26 81.3	26 81.3	6 18.8	- -	- -	- -	1 3.1	- -	2 6.3	1 3.1	1 3.1
不明・無回答	10 100.0	7 70.0	6 60.0	- -	- -	1 10.0	1 10.0	1 10.0	- -	- -	1 10.0	- -

あて名のお子さんの保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔未就学児童調査、小学生児童調査…問 12〕

保護者の就労状況についてみると、母親では、「フルタイム」が未就学児童は 43.0%、小学生児童は 51.0%と最も高くなっています。また、父親も「フルタイム」が未就学児童は 67.8%、小学生児童は 74.3%と最も高くなっています。



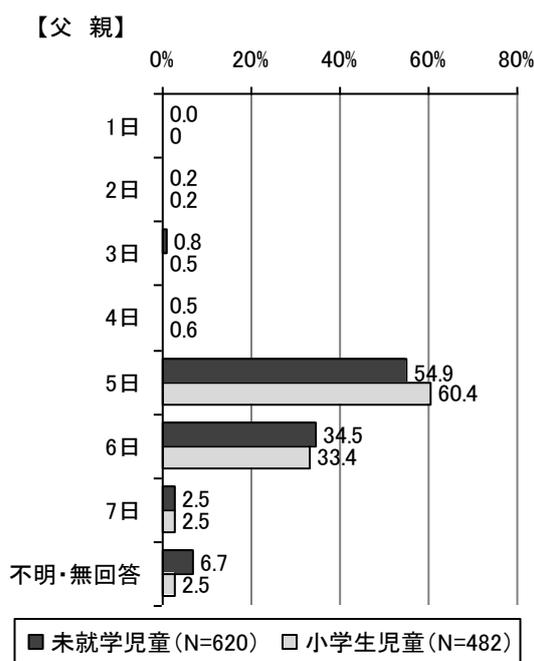
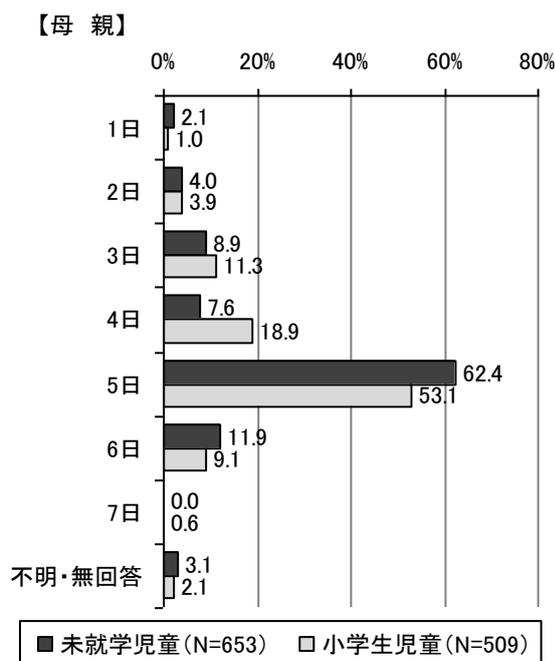
* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

(1) ① 就労している保護者の状況 [未就学児童調査、小学生児童調査…問 12 / 続き]

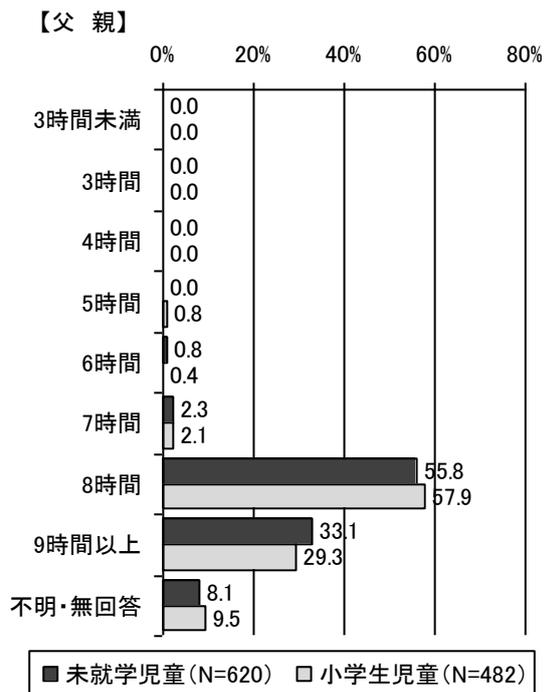
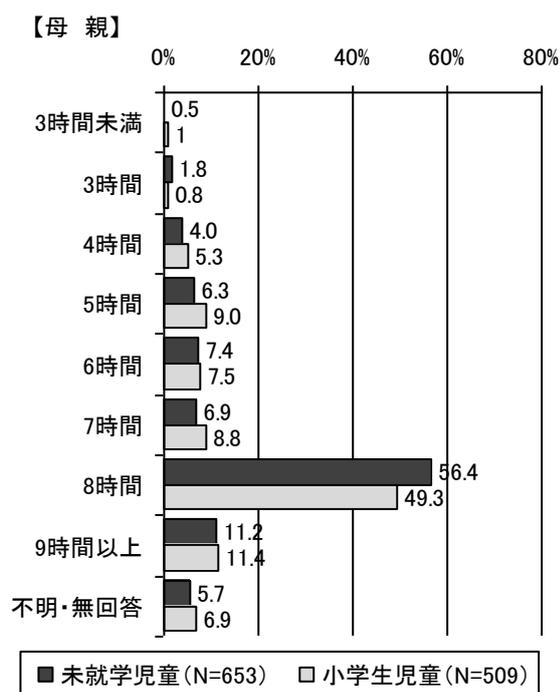
就労している保護者の状況についてみると、1週あたりの就労日数では、未就学児童の母親、父親、小学生児童の母親、父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。

1日あたりの就労時間では、未就学児童の母親、父親、小学生児童の母親、父親ともに「8時間」の割合が最も高くなっています。

■ 1週あたりの就労日数 <数量回答>



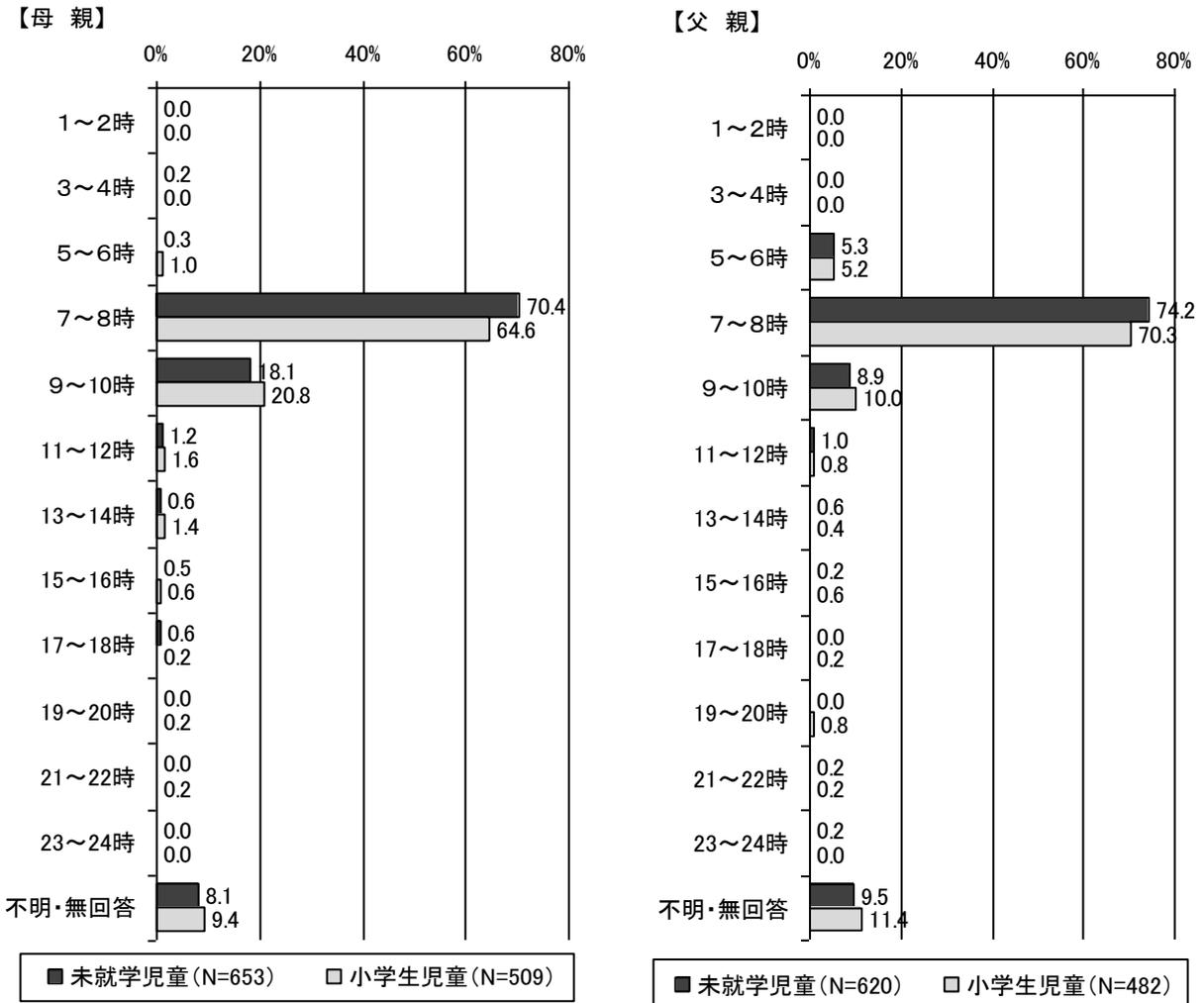
■ 1日あたりの就労時間 <数量回答>



家を出る時間では、未就学児童の母親、父親、小学生児童の母親、父親ともに「7～8時」の割合が最も高くなっています。

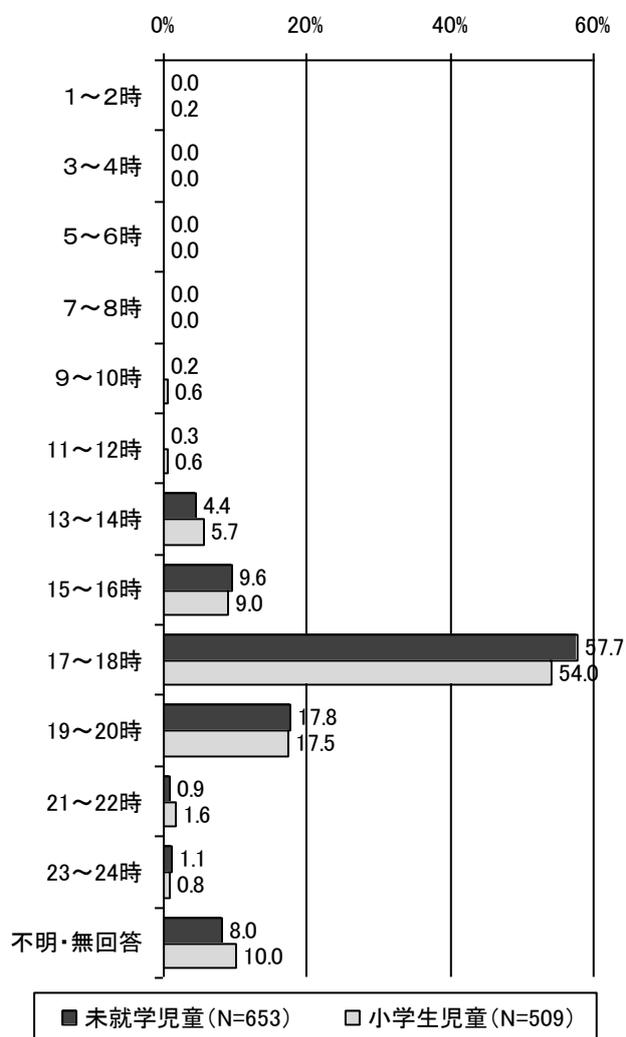
帰宅時間では、未就学児童の母親、父親、小学生児童の母親、父親ともに「17～18時」の割合が最も高くなっています。

■家を出る時間〈数量回答〉

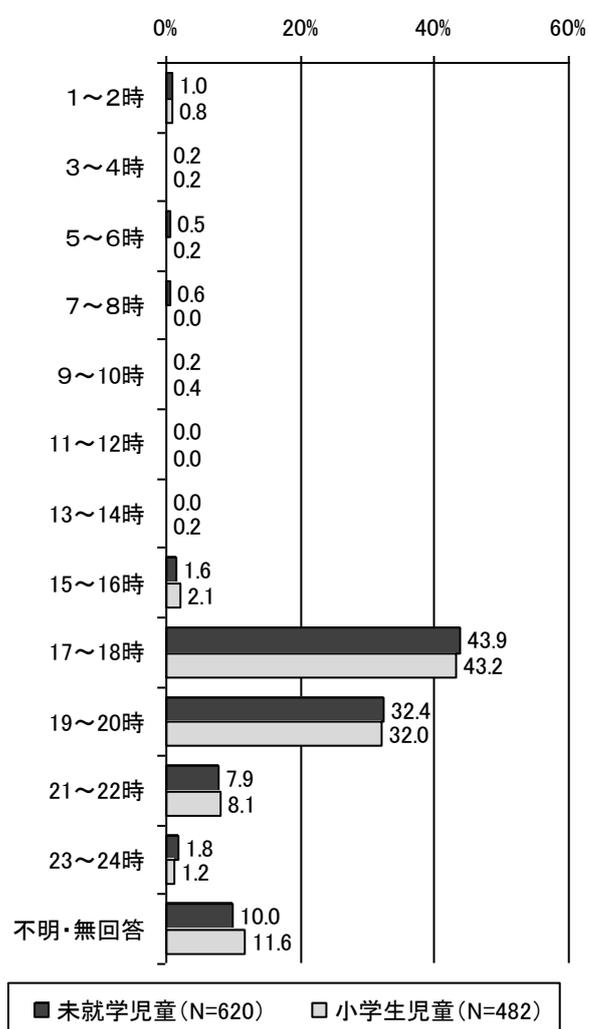


■帰宅時間〈数量回答〉

【母親】



【父親】

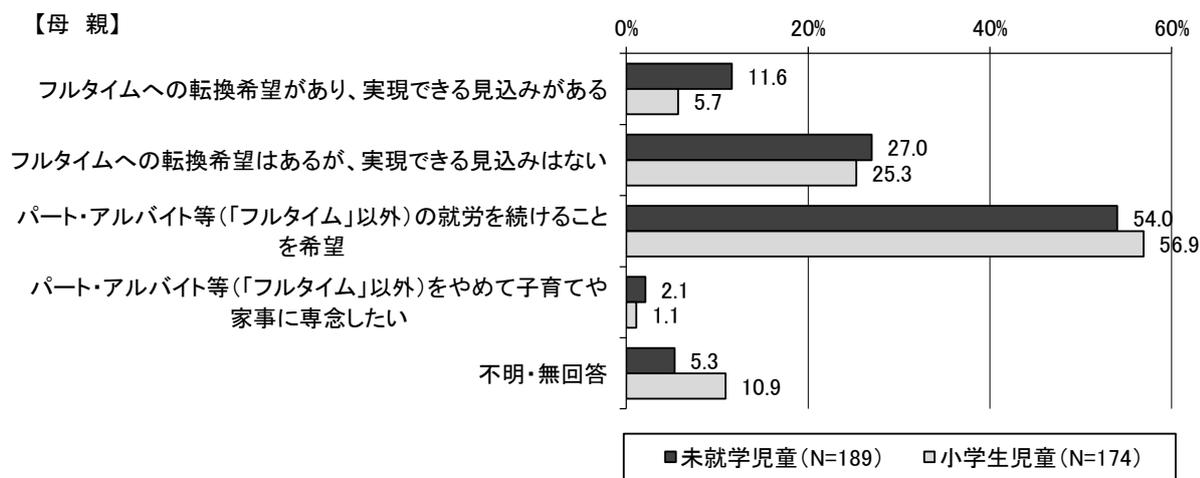


(1)で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等【産休・育休・介護休業中である】」を選んだ方

(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

[未就学児童調査、小学生児童調査…問 13]

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では、「パートタイム・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が未就学児童は54.0%、小学生児童は56.9%と最も高く、父親では、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」に未就学児童は4件、小学生児童は7件の回答がありました。



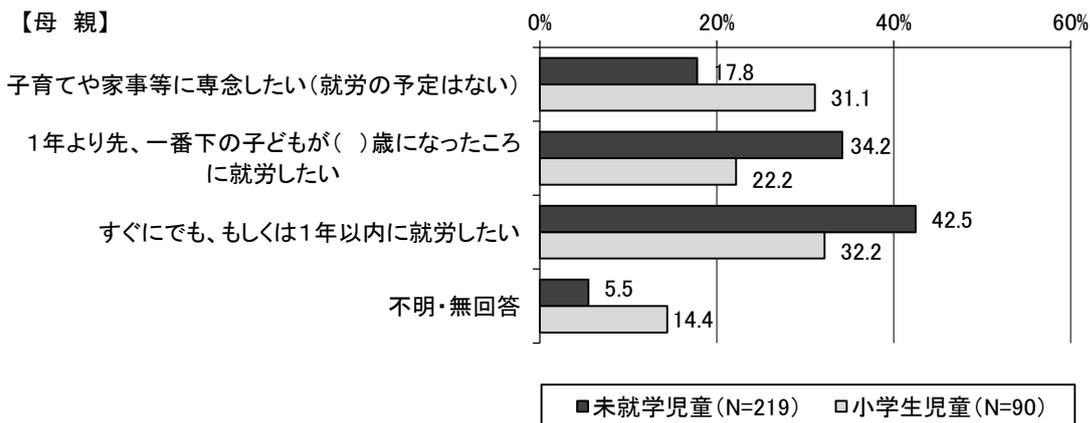
【父親】 フルタイムへの転換希望	未就学児童 (N=10)		小学生児童 (N=10)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	10.0	2	20.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	4	40.0	7	70.0
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	3	30.0	1	10.0
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	20.0	0	0.0

(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選んだ方

(3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉〔未就学児童調査、小学生児童調査…問 14〕

現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では、未就学児童、小学生児童ともに「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ42.5%、32.2%と最も高くなっています。

また、父親でも、未就学児童、小学生児童ともに「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が最も高くなっています



【父親】 就労希望	未就学児童 (N=12)		小学生児童 (N=9)	
	件数	%	件数	%
子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)	1	8.3	1	11.1
1年より先、一番下の子どもが()歳になったら就労したい	0	0.0	1	11.1
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	11	91.7	5	55.6
不明・無回答	0	0.0	2	22.2

(3)で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったら就労したい」を選んだ方

(3) - 1 一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

一番下の子どもが何歳になれば就労したいかについてみると、母親では、未就学児童は「3歳」が32.0%と最も高くなっています。また、小学生児童は「2歳」と「7歳」が最も高くなっています。

【母親】 就労したい時の 末子の年齢	未就学児童 (N=75)		小学生児童 (N=20)	
	件数	%	件数	%
1歳	8	10.7	2	10.0
2歳	13	17.3	4	20.0
3歳	24	32.0	2	10.0
4歳	6	8.0	0	0.0
5歳	3	4.0	1	5.0
6歳	4	5.3	1	5.0
7歳	7	9.3	4	20.0
8歳	0	0.0	1	5.0
9歳	0	0.0	1	5.0
10歳	4	5.3	3	15.0
不明・無回答	6	8.0	1	5.0

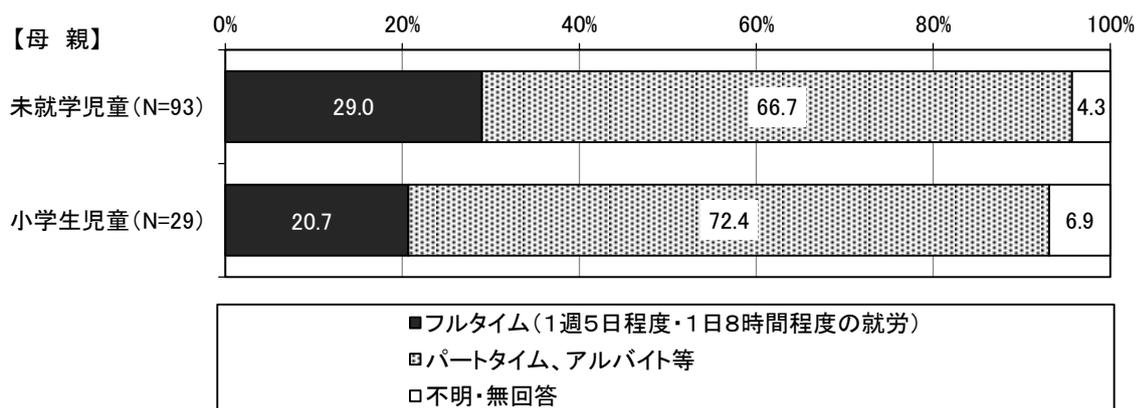
※【父親】回答はありませんでした。

(3)で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

(3)－2 希望する就労形態〈単数回答〉 [未就学児童調査、小学生児童調査…問 14／続き]

『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態についてみると、母親では「パートタイム、アルバイト等(「フルタイム」以外)」が未就学児童は66.7%、小学生児童は72.4%と最も高くなっています。

また、父親では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が、未就学児童、小学生児童ともに最も高くなっています。



【父親】 希望する就労形態	未就学児童 (N=11)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)	8	72.7	4	80.0
パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)	2	18.2	1	20.0
不明・無回答	1	9.1	0	0.0

(3) - 2で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方

(3) - 3 パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

〔未就学児童調査、小学生児童調査…問 14／続き〕

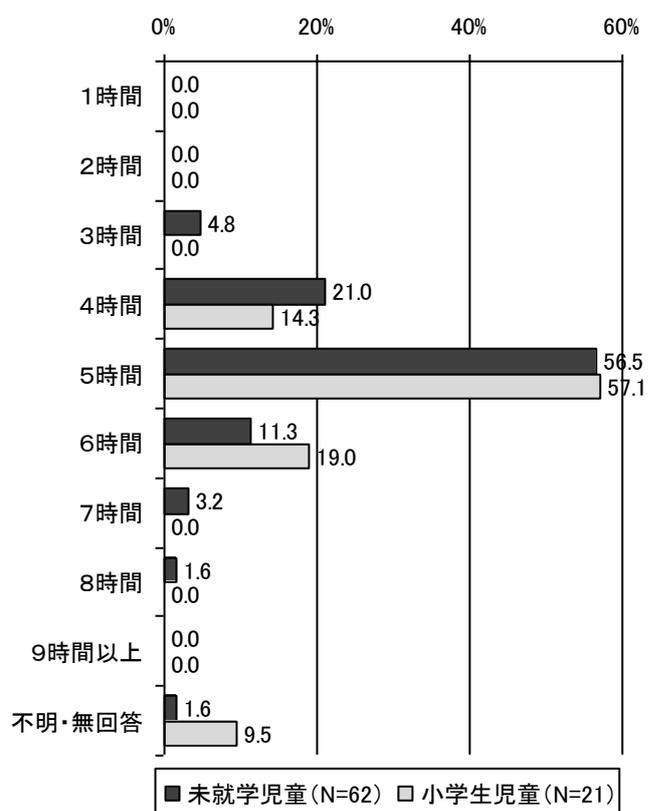
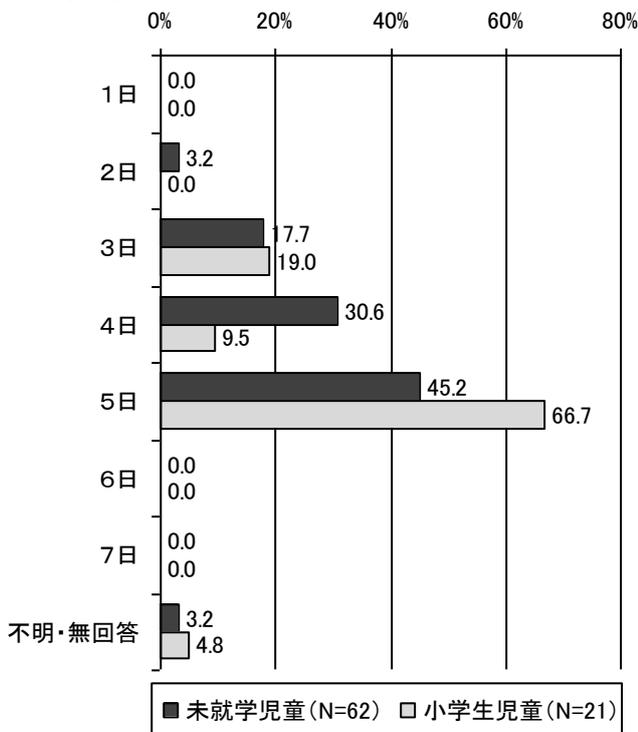
パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週あたりの就労日数については、母親では、未就学児童、小学生児童ともに「5日」の割合が最も高くなっています。また、父親では、「3日」に未就学児童は2件、小学生児童は1件の回答がありました。

希望する1日あたりの就労時間については、母親では、未就学児童、小学生児童ともに「5時間」の割合が最も高くなっています。また、父親では、未就学児童は「5時間」と「7時間」に1件の回答がありました。小学生児童は回答がありませんでした。

**① 希望する1週あたりの就労日数
〈数量回答〉**

**② 希望する1日あたりの就労時間
〈数量回答〉**

【母親】

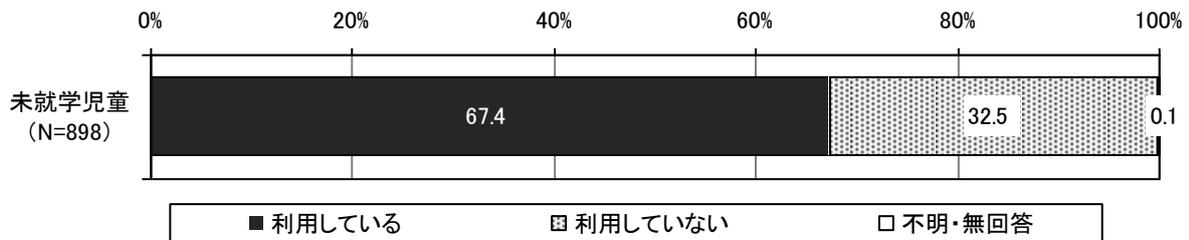


あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用（未就学児童）

（１）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉

〔未就学児童調査…問 15〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が 67.4%、「利用していない」が 32.5%となっています。



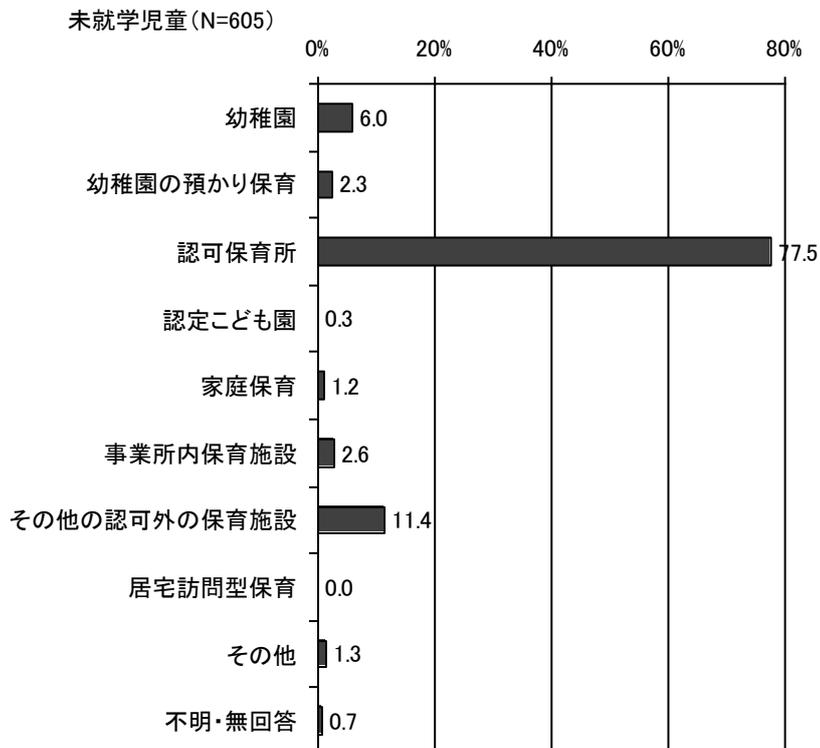
*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示す事業が含まれます。

（１）で「利用している」を選んだ方

（１）- 1 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉

〔未就学児童調査…問 15-1〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が 77.5%と最も高くなっています。



(1)で「利用している」を選んだ方

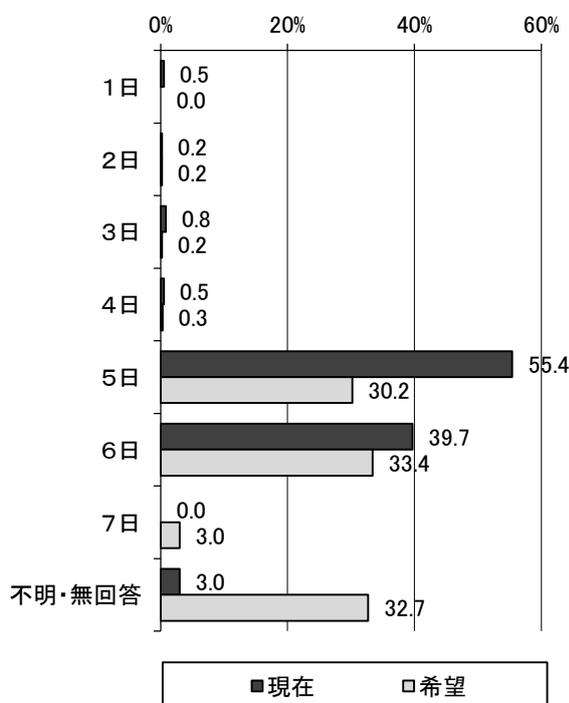
(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔未就学児童調査…問 15－2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週あたりの利用日数は、現在は「5日」が55.4%、希望は「6日」が33.4%と、それぞれ最も高くなっています。

また、1日あたりの利用時間については、現在、希望ともに「8時間」が最も高く、それぞれ32.4%、18.5%となっていますが、希望は「不明・無回答」が35.0%となっています。

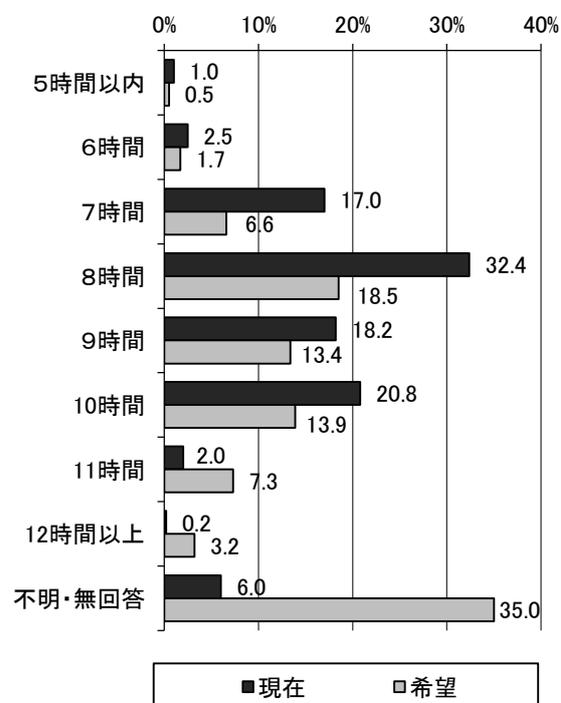
■ 1週あたりの利用日数〈数量回答〉

未就学児童(N=605)



■ 1日あたりの利用時間〈数量回答〉

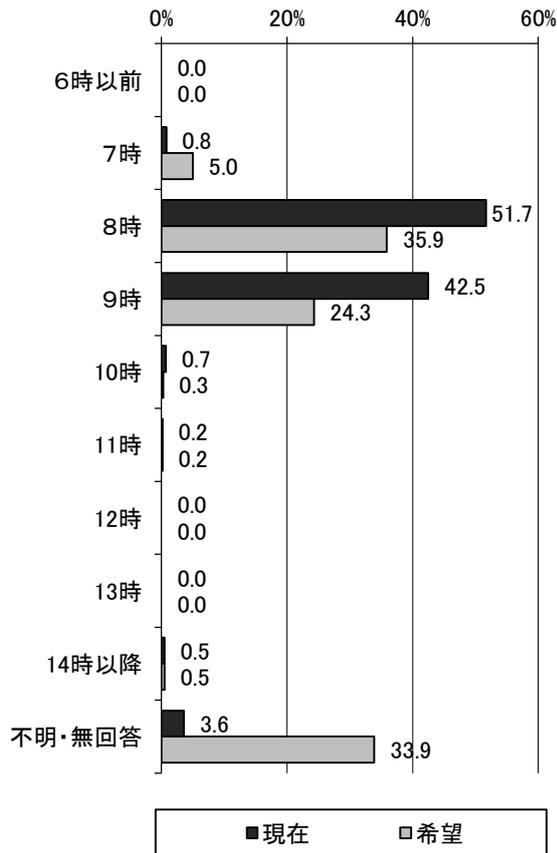
未就学児童(N=605)



利用開始時間については、現在、希望ともに「8時」が最も高く、それぞれ51.7%、35.9%となっています。また、終了時間については、現在、希望ともに「18時」が最も高く、それぞれ33.7%、22.3%となっています。

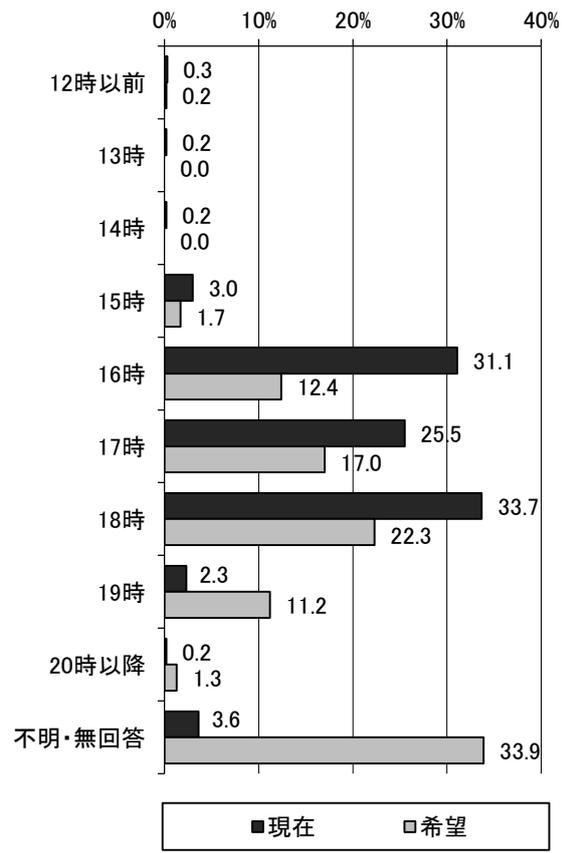
■利用開始時間〈数量回答〉

未就学児童(N=605)



■利用終了時間〈数量回答〉

未就学児童(N=605)

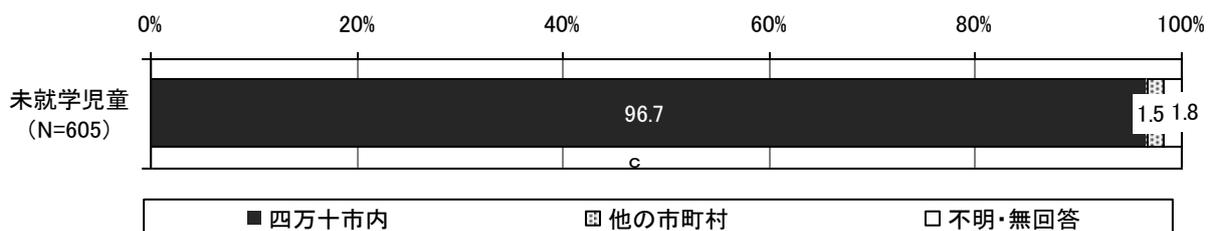


(1)で「利用している」を選んだ方

(1) - 3 平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

[未就学児童調査…問 15-3]

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「四万十市内」が96.7%と最も高く、大部分を占めています。

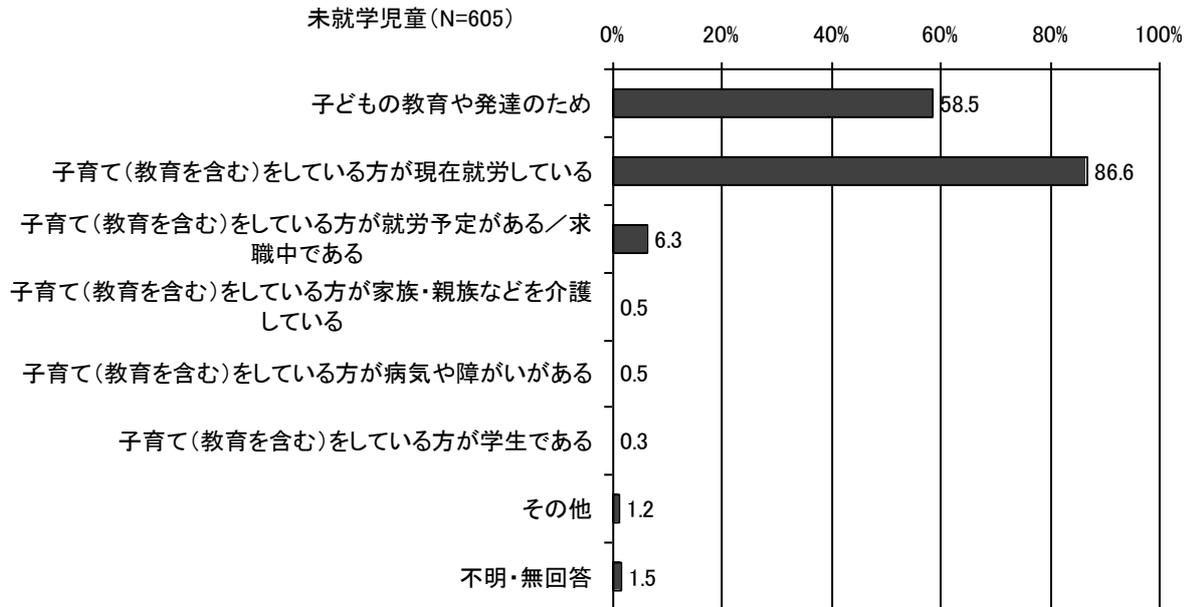


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔未就学児童調査…問 15－4〕

平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が86.6%と最も高く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が58.5%となっています。

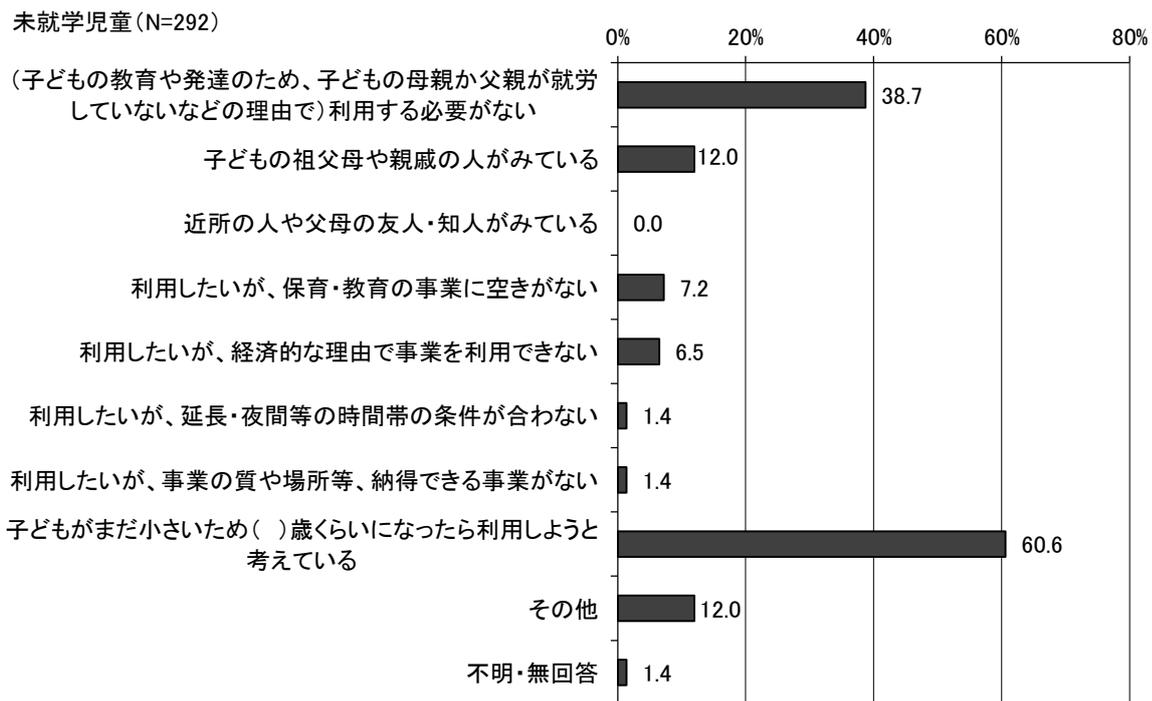


(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－5 利用していない主な理由〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 15－5〕

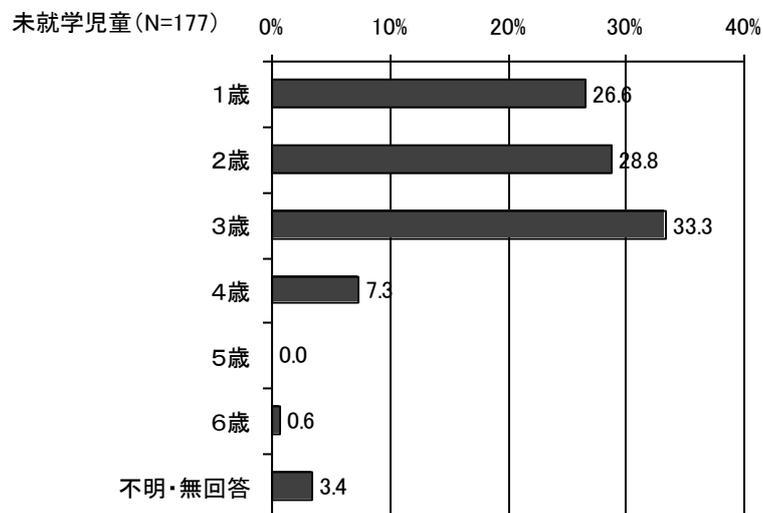
平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」が60.6%と最も高く、次いで、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が38.7%となっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「3歳」が33.3%と最も高くなっています。



(1)－5で「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方

(1)－5① 利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉〔未就学児童調査…問 15－5／続き〕



地区別 × 平日に利用している教育・保育事業

[地区別×未就学児童調査…問 15-1/クロス]

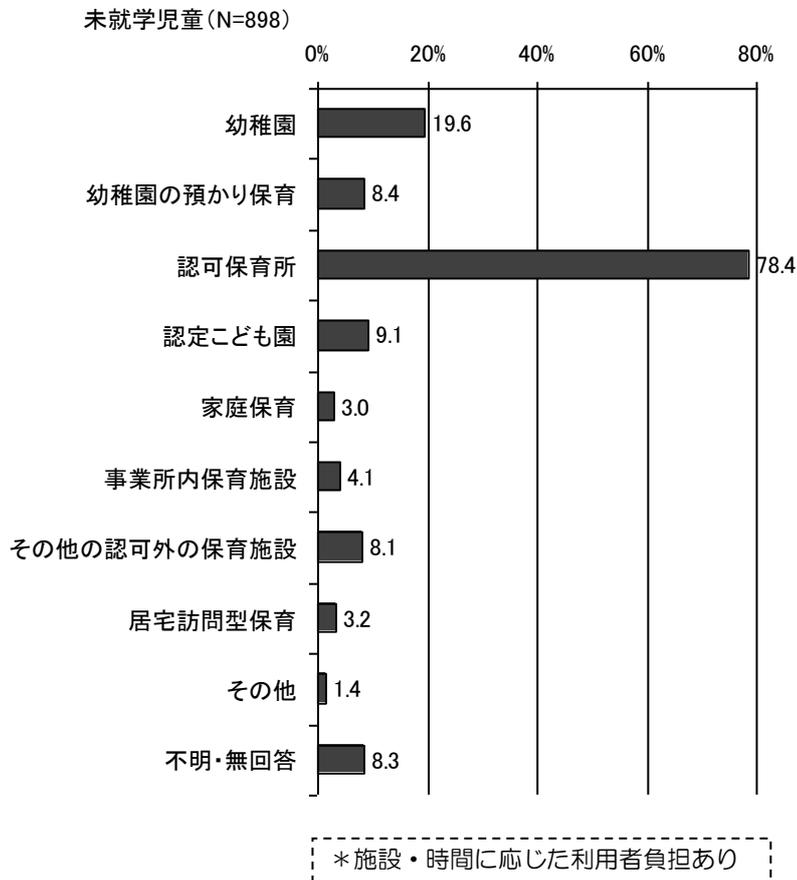
地区別にみると、すべての地区で「認可保育所」の割合が高くなっています。また、『中村』、『具同』、『東中筋』、『八束』、『下田』、『後川』、『富山』は、「その他の認可外の保育施設」の割合が1割を超えています。

◎未就学児童

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	その他	不明・無回答
合計	605 100.0	36 6.0	14 2.3	469 77.5	2 0.3	7 1.2	16 2.6	69 11.4	-	8 1.3	4 0.7
中村	189 100.0	15 7.9	3 1.6	139 73.5	1 0.5	4 2.1	2 1.1	26 13.8	-	1 0.5	2 1.1
東山	86 100.0	2 2.3	2 2.3	74 86.0	-	-	1 1.2	7 8.1	-	1 1.2	1 1.2
具同	153 100.0	11 7.2	5 3.3	104 68.0	1 0.7	3 2.0	10 6.5	22 14.4	-	4 2.6	1 0.7
東中筋	22 100.0	-	-	20 90.9	-	-	-	3 13.6	-	-	-
中筋	11 100.0	-	-	11 100.0	-	-	-	-	-	-	-
八束	20 100.0	2 10.0	2 10.0	14 70.0	-	-	1 5.0	3 15.0	-	-	-
下田	38 100.0	1 2.6	-	32 84.2	-	-	-	4 10.5	-	1 2.6	-
蕨岡	8 100.0	-	-	5 62.5	-	-	2 25.0	-	-	1 12.5	-
後川	19 100.0	1 5.3	1 5.3	16 84.2	-	-	-	2 10.5	-	-	-
大川筋	7 100.0	-	-	7 100.0	-	-	-	-	-	-	-
富山	7 100.0	1 14.3	-	5 71.4	-	-	-	1 14.3	-	-	-
西土佐	36 100.0	1 2.8	-	35 97.2	-	-	-	-	-	-	-
不明・無回答	9 100.0	2 22.2	1 11.1	7 77.8	-	-	-	1 11.1	-	-	-

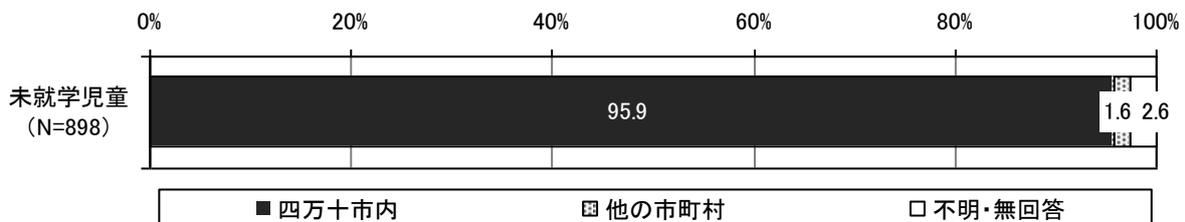
(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業〈複数回答〉 [未就学児童調査…問 16]

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が78.4%と最も高く、次いで「幼稚園」が19.6%となっています。



(2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉 [未就学児童調査…問 16-1]

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「四万十市内」が95.9%と最も高く、大部分を占めています。



地区別 × 今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業

[地区別×未就学児童調査…問 16/クロス]

地区別にみると、すべての地区で「認可保育所」の割合が高くなっています。また、『中村』、『具同』、『八束』は、「幼稚園」の割合が2割を超えており、『東山』も 18.9%となっています。

◎未就学児童

上段:件数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	家庭保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	その他	不明・無回答
合計	898 100.0	176 19.6	75 8.4	704 78.4	82 9.1	27 3.0	37 4.1	73 8.1	29 3.2	13 1.4	34 3.8
中村	292 100.0	71 24.3	30 10.3	219 75.0	27 9.2	9 3.1	10 3.4	29 9.9	7 2.4	7 2.4	11 3.8
東山	132 100.0	25 18.9	10 7.6	112 84.8	9 6.8	3 2.3	5 3.8	11 8.3	6 4.5	-	2 1.5
具同	233 100.0	53 22.7	25 10.7	170 73.0	26 11.2	11 4.7	9 3.9	23 9.9	9 3.9	3 1.3	10 4.3
東中筋	28 100.0	2 7.1	-	24 85.7	-	-	-	1 3.6	-	-	3 10.7
中筋	18 100.0	2 11.1	1 5.6	16 88.9	2 11.1	-	1 5.6	1 5.6	-	-	-
八束	25 100.0	5 20.0	4 16.0	20 80.0	4 16.0	1 4.0	4 16.0	2 8.0	3 12.0	-	1 4.0
下田	48 100.0	6 12.5	1 2.1	42 87.5	5 10.4	2 4.2	-	2 4.2	1 2.1	1 2.1	1 2.1
蕨岡	14 100.0	-	-	12 85.7	1 7.1	-	3 21.4	1 7.1	-	1 7.1	-
後川	25 100.0	3 12.0	2 8.0	22 88.0	3 12.0	-	2 8.0	1 4.0	1 4.0	-	2 8.0
大川筋	9 100.0	-	-	7 77.8	-	-	1 11.1	-	-	1 11.1	-
富山	9 100.0	-	-	6 66.7	2 22.2	-	-	-	1 11.1	-	2 22.2
西土佐	50 100.0	4 8.0	-	44 88.0	3 6.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0	1 2.0	-	-
不明・無回答	15 100.0	5 33.3	2 13.3	10 66.7	-	-	-	1 6.7	-	-	2 13.3

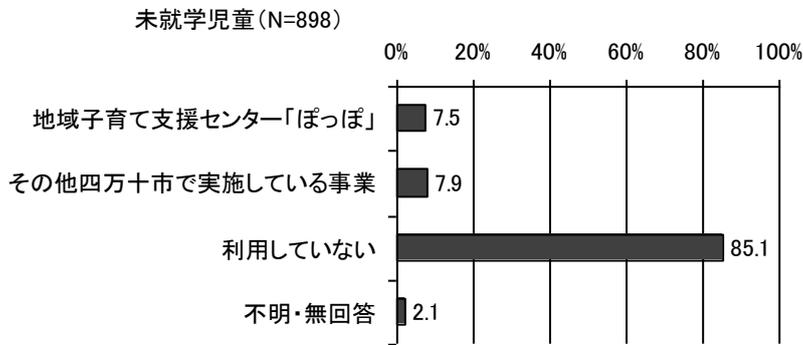
あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況（未就学児童）

（１）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 17〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、『地域子育て支援センター「ぽっぽ」』が7.5%、『その他四万十市で実施している事業』が7.9%となっています。一方、「利用していない」は85.1%となっています。

また、1週あたりの利用回数では、『地域子育て支援センター「ぽっぽ」』は「2回」の割合が高くなっています。1ヶ月あたりの利用回数では、『地域子育て支援センター「ぽっぽ」』は「3回」、『その他、四万十市で実施している事業』は「1回」の割合が高くなっています。

1年間あたりの利用回数では、『その他、四万十市で実施している事業』は「3回」の割合が高くなっています。



（１）で「地域子育て支援拠点事業」または「四万十市で実施している類似の事業」を選んだ方

■ 1週あたり、1ヶ月あたり、1年あたりの利用回数〈数量回答〉

【未就学児童】 1週あたりの 利用回数	地域子育て支援センター 「ぽっぽ」 (N=67)		その他、四万十市で実施 している類似の事業 (N=71)	
	件数	%	件数	%
1回	5	7.5	0	0.0
2回	6	9.0	0	0.0
3回	5	7.5	0	0.0
4回	3	4.5	0	0.0
5回以上	1	1.5	0	0.0
不明・無回答	47	70.1	71	100.0

【未就学児童】 1年あたりの 利用回数	その他、四万十市で実施 している類似の事業 (N=71)	
	件数	%
1回	4	5.6
2回	6	8.5
3回	8	11.3
4回	2	2.8
5回以上	4	5.6
不明・無回答	47	66.2

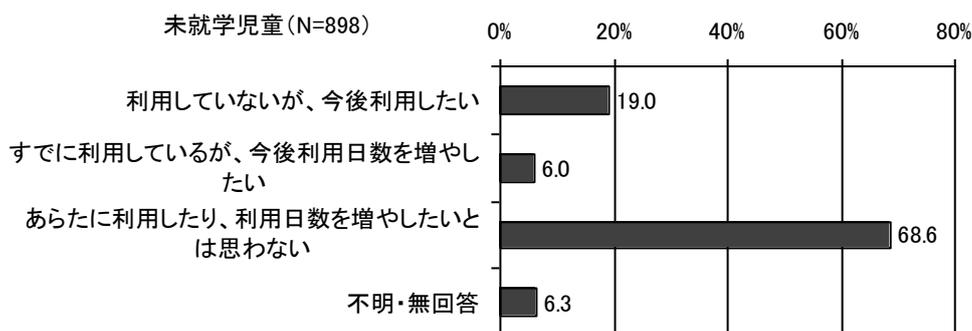
【未就学児童】 1ヶ月あたりの 利用回数	地域子育て支援センター 「ぽっぽ」 (N=67)		その他、四万十市で実施 している類似の事業 (N=71)	
	件数	%	件数	%
1回	13	19.4	35	49.3
2回	9	13.4	3	4.2
3回	18	26.9	2	2.8
4回	0	0.0	0	0.0
5回以上	5	7.5	0	0.0
不明・無回答	22	32.8	31	43.7

※『地域子育て支援センター「ぽっぽ」』
1年あたりの利用回数に、回答はありませんでした。

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 18〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「あらたに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が68.6%と最も高くなっています。

また、1週あたりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』とともに「1回」の割合が高くなっています。1ヶ月あたりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』とともに「1回」の割合が高くなっています。



(2)で「利用していないが、今後利用したい」または「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方

(2) ① 1週あたりもしくは1ヶ月あたりの利用希望回数〈数量回答〉

〔未就学児童調査…問 18/続き〕

【未就学児童】 1週あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=171)		すでに利用している が、今後利用日数を 増やしたい (N=54)	
	件数	%	件数	%
1回	41	24.0	10	18.5
2回	13	7.6	5	9.3
3回	4	2.3	4	7.4
4回	1	0.6	2	3.7
5回以上	2	1.2	0	0.0
不明・無回答	110	64.3	33	61.1

【未就学児童】 1ヶ月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=171)		すでに利用している が、今後利用日数を 増やしたい (N=54)	
	件数	%	件数	%
1回	65	38.0	14	25.9
2回	31	18.1	4	7.4
3回	12	7.0	5	9.3
4回	7	4.1	4	7.4
5回以上	7	4.1	5	9.3
不明・無回答	49	28.7	22	40.7

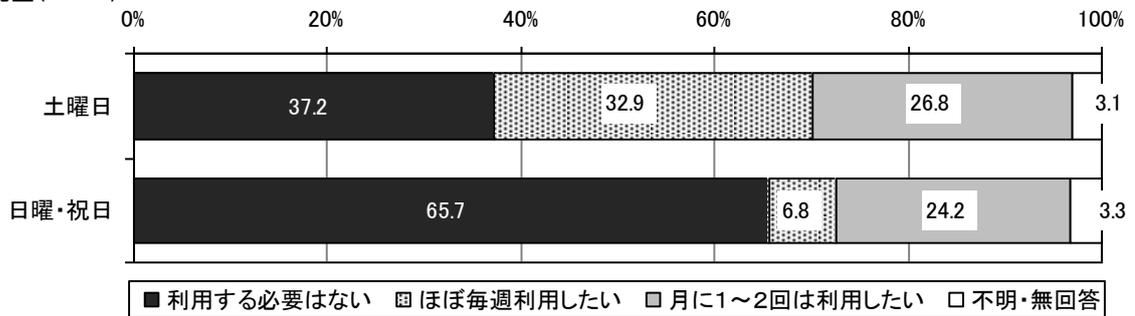
あて名のお子さんの土曜日・日曜日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望（未就学児童）

（１）土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 19〕

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ37.2%、65.7%と最も高くなっていますが、土曜日は「ほぼ毎日利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせると59.7%となり、半数を超えています。

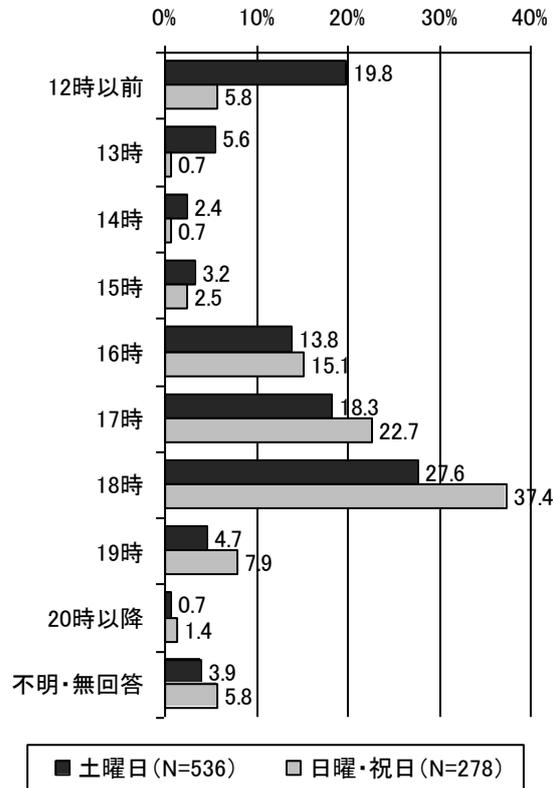
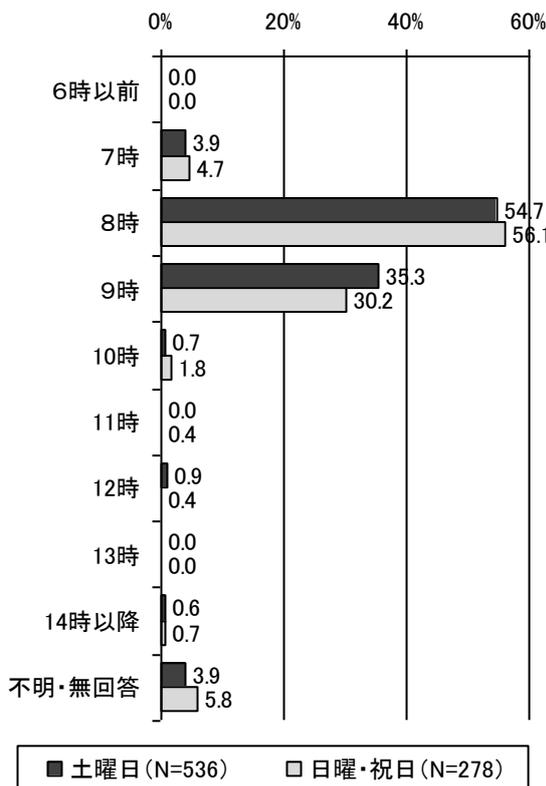
また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高く、終了時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「18時」の割合が最も高くなっています。

未就学児童(N=898)



（１）で「ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

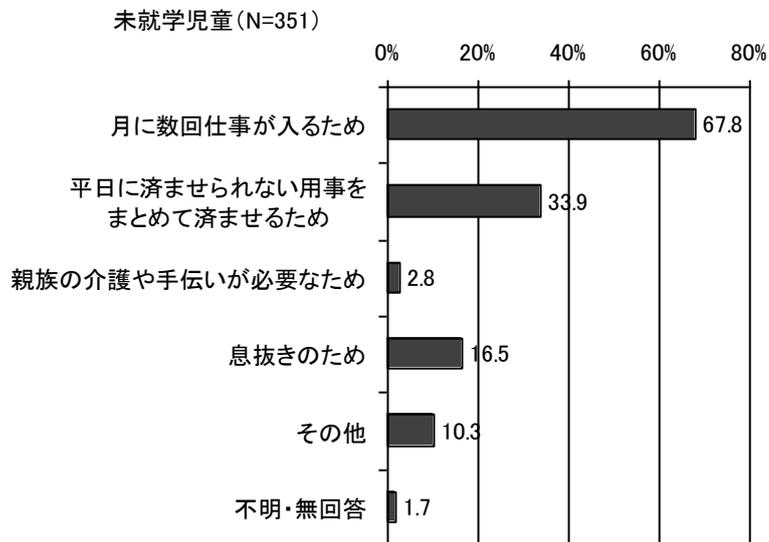
（１）① 希望する利用時間帯〈数量回答〉



(1)で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1)－1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 19－1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が67.8%と最も高く、次いで、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が33.9%となっています。



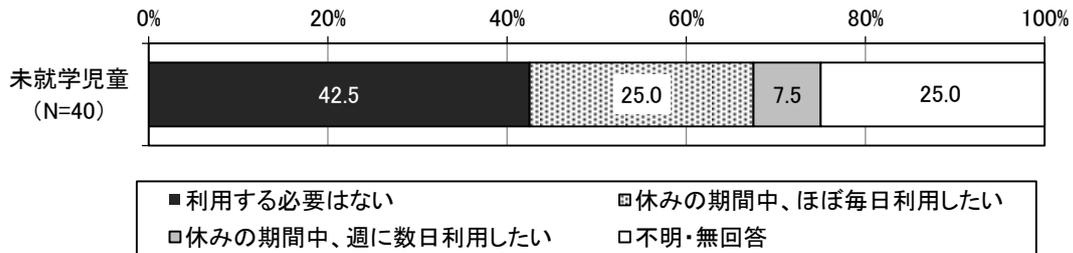
「幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

[未就学児童調査…問20]

幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が42.5%と最も高く、次いで、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が25.0%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「9時」、終了時間では「17時」と「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

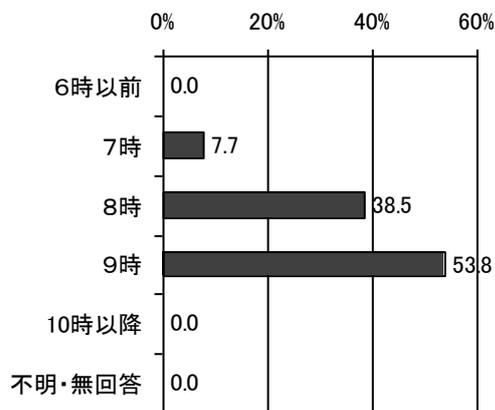


(2) で「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」または「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」を選んだ方

(2) ① 希望する利用時間帯〈数量回答〉

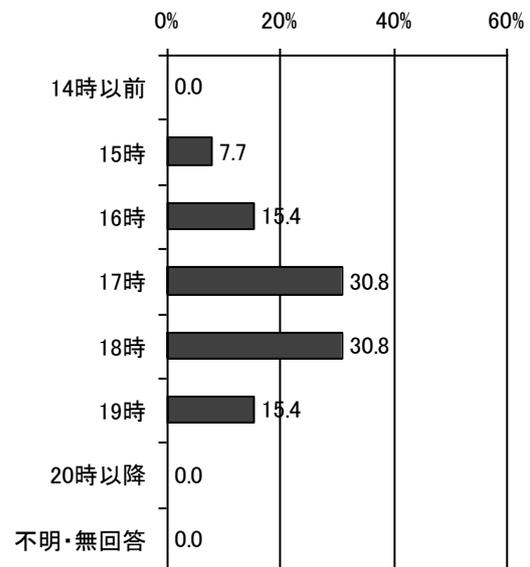
■希望開始時間

未就学児童(N=13)



■希望終了時間

未就学児童(N=13)



(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 20－1〕

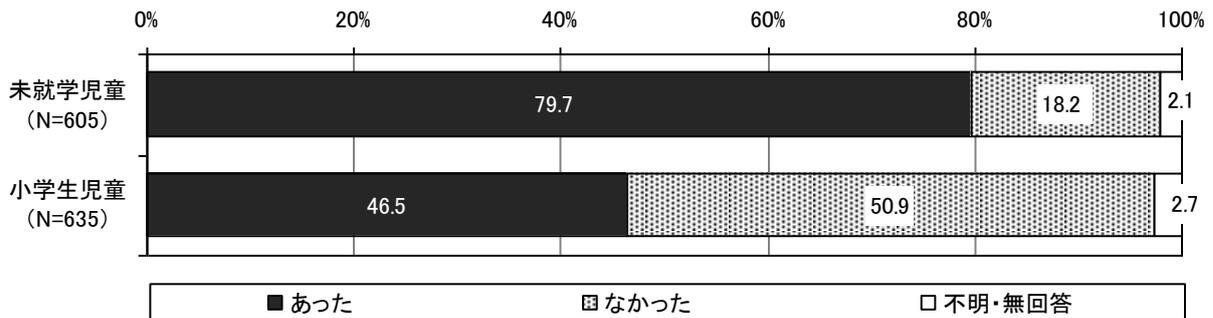
毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「息抜きのため」に3件、「週に数回仕事が入るため」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」にそれぞれ1件の回答がありました。

毎日ではなく、たまに利用したい理由	未就学児童 (N=3)	
	件数	%
週に数回仕事が入るため	1	33.3
買い物等の用事をまとめて済ませるため	1	33.3
親族の介護や手伝いが必要なため	0	0.0
息抜きのため	3	100.0
その他	1	33.3
不明・無回答	0	0.0

あて名のお子さんの病気の際の対応（未就学児童は平日の教育・保育を利用する方のみ）

（１）この１年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無
〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 21、小学生児童調査…問 15〕

病気やケガで通常の事業が利用できなかったことや学校を休まなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が未就学児童は 79.7%、小学生児童は 46.5%となっています。

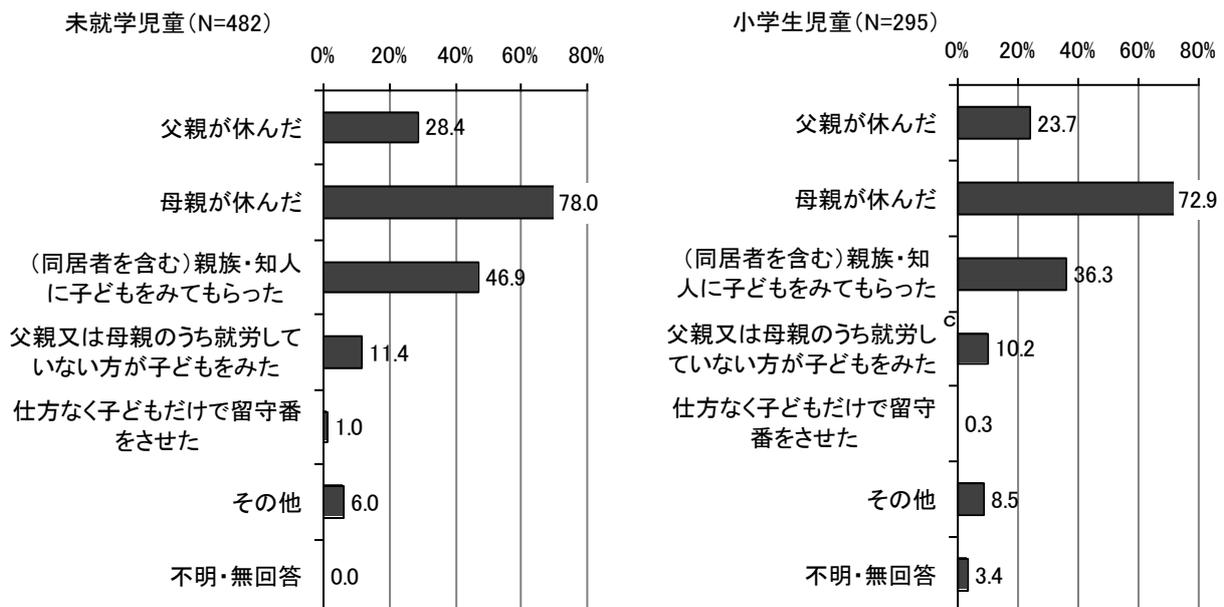


（１）で「あった」を選んだ方

（１）－１ 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の、この１年間に行った対処方法〈複数回答〉

〔未就学児童調査…問 21－1、小学生児童調査…問 15－1〕

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったり、学校へ行けなかったりした場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」が未就学児童は 78.0%、小学生児童は 72.9%と、それぞれ最も高く、次いで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が未就学児童は 46.9%、小学生児童は 36.3%となっています。



(1) - 1① 子どもが病気やケガの際の各対処日数〈数量回答〉

[未就学児童調査…問 21-1、小学生児童調査…問 15-1/続き]

子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、未就学児童では、『母親が休んだ』、『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』、『父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』が「10日以上」、『父親が休んだ』が「2日」、『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』が「3日」の割合が高くなっています。

小学生児童では、『父親が休んだ』、『母親が休んだ』、『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』が「1日」、『父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』、『病児・病後児の保育を利用した』が「2日」、『仕方なく子どもだけで留守番をさせた』が「1日」と「2日」の割合が高くなっています。

【未就学児童】 対応日数	父親が休んだ		母親が休んだ		もにむ(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった		をなう父(みいち親)方就又は(が)労は(子)し母(ど)て親(も)いの		さだ仕(せ)け方(た)でな(留)く(守)番(ど)をも		その他	
	N=137		N=376		N=226		N=55		N=5		N=29	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	26	19.0	35	9.3	19	8.4	3	5.5	1	20.0	5	17.2
2日	35	25.5	51	13.6	31	13.7	7	12.7	0	0.0	2	6.9
3日	22	16.1	42	11.2	32	14.2	3	5.5	2	40.0	2	6.9
4日	3	2.2	14	3.7	3	1.3	2	3.6	0	0.0	1	3.4
5日	19	13.9	58	15.4	27	11.9	7	12.7	0	0.0	2	6.9
6日	0	0.0	10	2.7	4	1.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	2	1.5	24	6.4	9	4.0	4	7.3	0	0.0	1	3.4
8日	1	0.7	3	0.8	2	0.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	14	10.2	82	21.8	55	24.3	16	29.1	0	0.0	8	27.6
不明・無回答	15	10.9	57	15.2	44	19.5	12	21.8	2	40.0	8	27.6

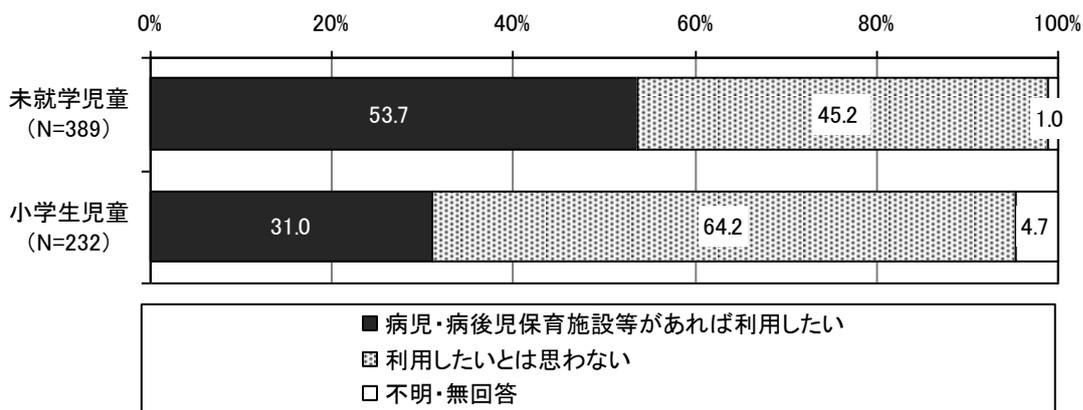
【小学生児童】 対応日数	父親が休んだ		母親が休んだ		もにむ(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった		をなう父(みいち親)方就又は(が)労は(子)し母(ど)て親(も)いの		保病(育)児(を)・利病(用)後(し)児(た)の		さだ仕(せ)け方(た)でな(留)く(守)番(ど)をも		その他	
	N=70		N=215		N=107		N=30		N=1		N=25		N=10	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	24	34.3	58	27.0	30	28.0	4	13.3	0	0.0	9	36.0	3	30.0
2日	18	25.7	52	24.2	23	21.5	6	20.0	1	100.0	9	36.0	4	40.0
3日	12	17.1	34	15.8	13	12.1	5	16.7	0	0.0	2	8.0	1	10.0
4日	1	1.4	10	4.7	4	3.7	0	0.0	0	0.0	1	4.0	0	0.0
5日	6	8.6	18	8.4	12	11.2	5	16.7	0	0.0	1	4.0	2	20.0
6日	0	0.0	3	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	2	2.9	4	1.9	2	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	1	0.9	1	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	3	4.3	13	6.0	5	4.7	2	6.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	4	5.7	22	10.2	17	15.9	7	23.3	0	0.0	3	12.0	0	0.0

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 21-2、小学生児童調査…問 15-2〕

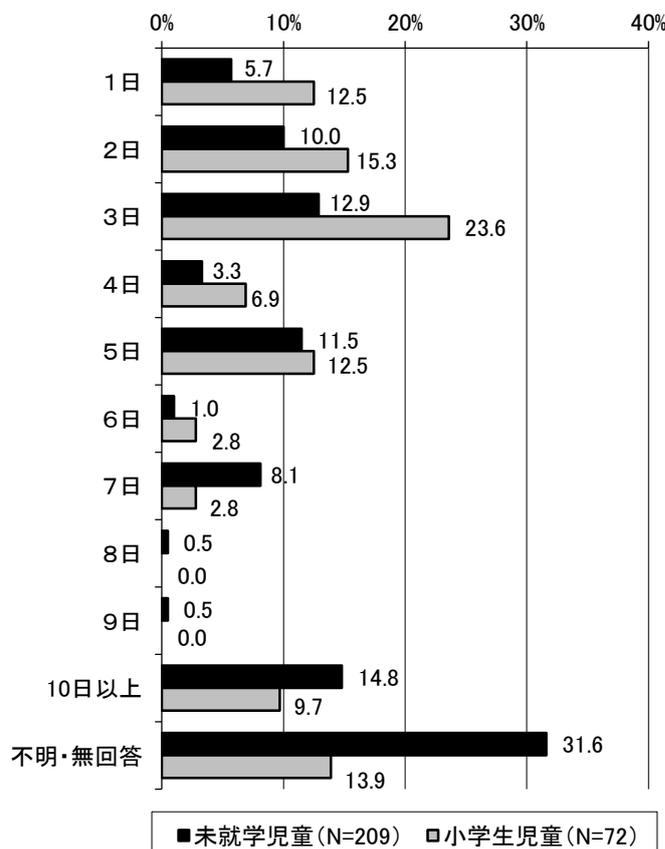
父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「病児・病後児保育施設等があれば利用したい」が未就学児童は 53.7%、小学生児童は 31.0%、「利用したいとは思わない」が未就学児童は 45.2%、小学生児童は 64.2%となっています。

また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、未就学児童は「10日以上」、小学生児童は「3日」が、それぞれ最も高くなっています。



(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方

(1) - 2① 病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉



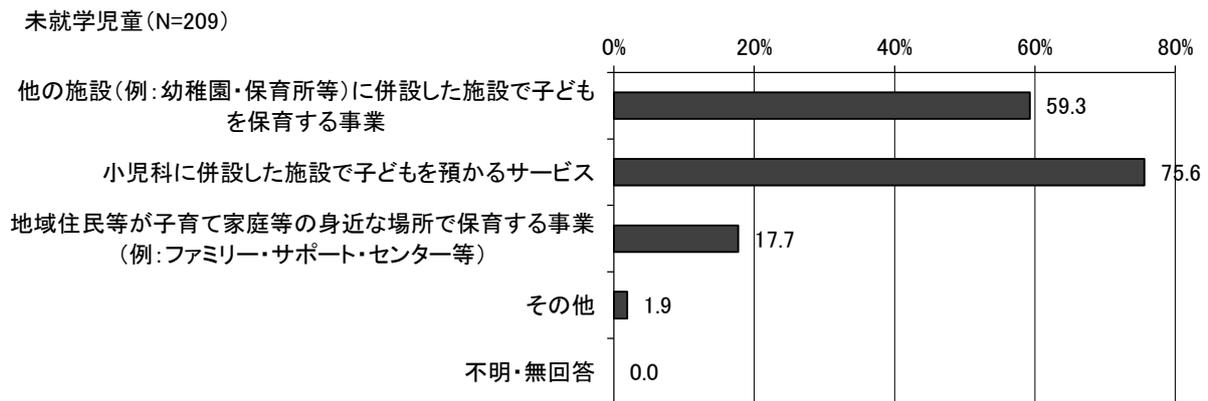
(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方

(1) - 3 上記の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

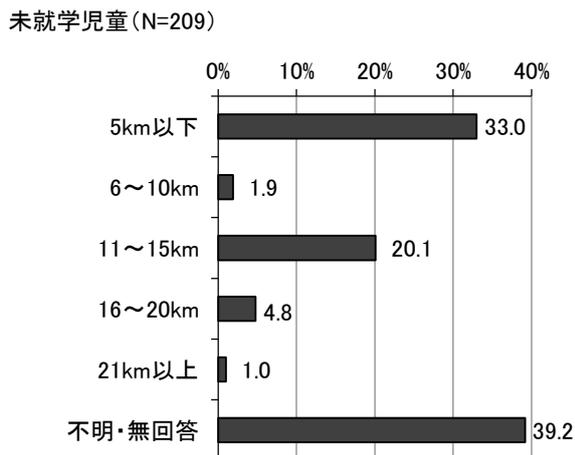
[未就学児童調査…問 21-3]

病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを預かるサービス」が75.6%と最も高くなっています。

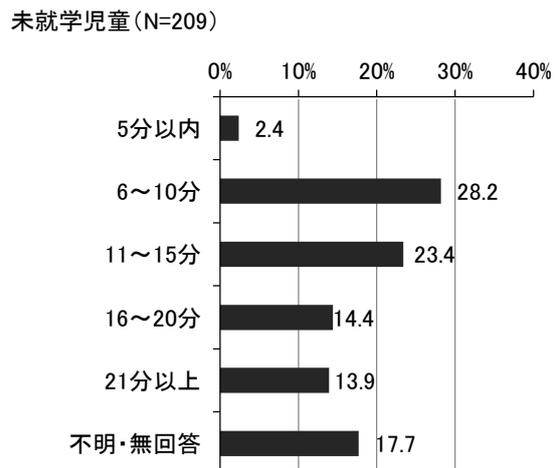
また、自宅から施設までの利用可能距離については、「5km以下」が33.0%と最も高くなっていますが、「不明・無回答」も39.2%となっています。自宅から施設までの利用可能時間については、「6～10分」が28.2%と最も高くなっています。



(1) - 3① 自宅から施設までの利用可能距離



(1) - 3② 自宅から施設までの利用可能時間

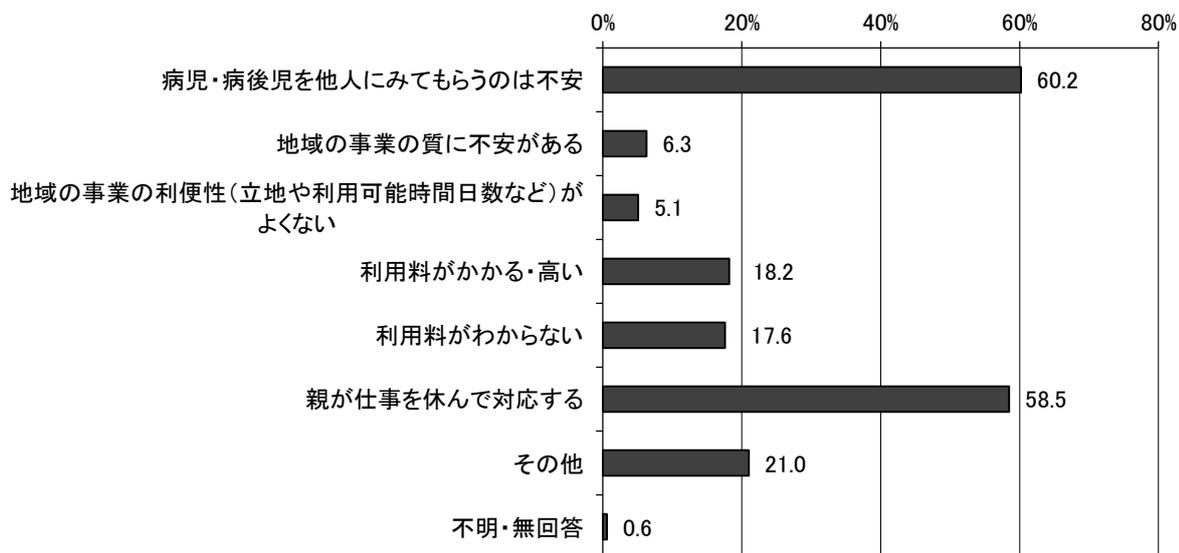


(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方

(1) - 4 そう思う理由〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 21-4〕

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が60.2%と最も高く、次いで、「親が仕事を休んで対応する」が58.5%となっています。

未就学児童(N=176)

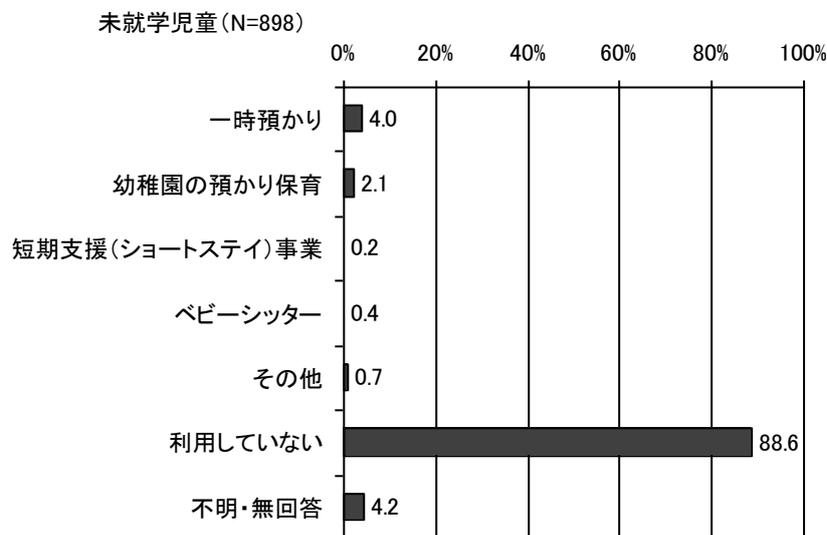


あて名のお子さんの不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用（未就学児童）

（１）日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業の有無〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 22〕

一時預かりなど、不定期に利用している事業についてみると、「利用していない」が88.6%と最も高くなっています。

利用している事業では、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」、「幼稚園の預かり保育」、「短期支援（ショートステイ）事業」、「ベビーシッター」の割合が、いずれも5.0%以下となっています。



(1) で「利用していない」以外を選んだ方

(1) ① 1年間の利用日数〈数量回答〉 [未就学児童調査…問 22/続き]

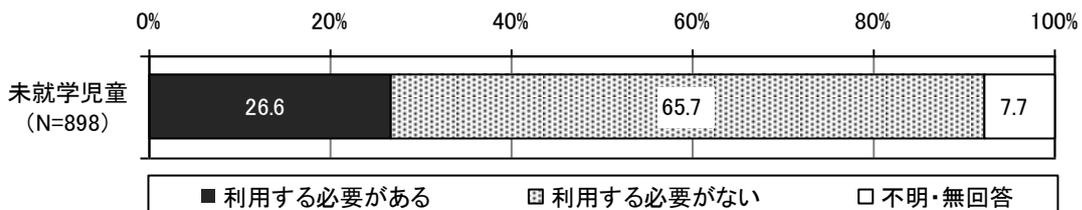
利用している事業の1年間の利用日数については、『一時預かり』は「1日」と「3日」、『幼稚園の預かり保育』は「6日」、『ショートステイを利用した』は「10～19日」の割合が高くなっています。

【未就学児童】 1年間の 利用日数	一時預かり N=36		幼稚園 の 保育 N=19		イシ をヨ 利 用ト しス たテ N=2		シベ ッビ ター N=4		その他 N=6	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	6	16.7	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2日	4	11.1	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3日	6	16.7	2	10.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	4	11.1	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	5	26.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	2.8	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	4	11.1	4	21.1	1	50.0	0	0.0	1	16.7
20～29日	4	11.1	1	5.3	0	0.0	0	0.0	1	16.7
30～39日	3	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40～49日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	3	8.3	1	5.3	0	0.0	0	0.0	2	33.3
不明・無回答	1	2.8	2	10.5	1	50.0	4	100.0	2	33.3

(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無
〈単数回答〉 [未就学児童調査…問 23]

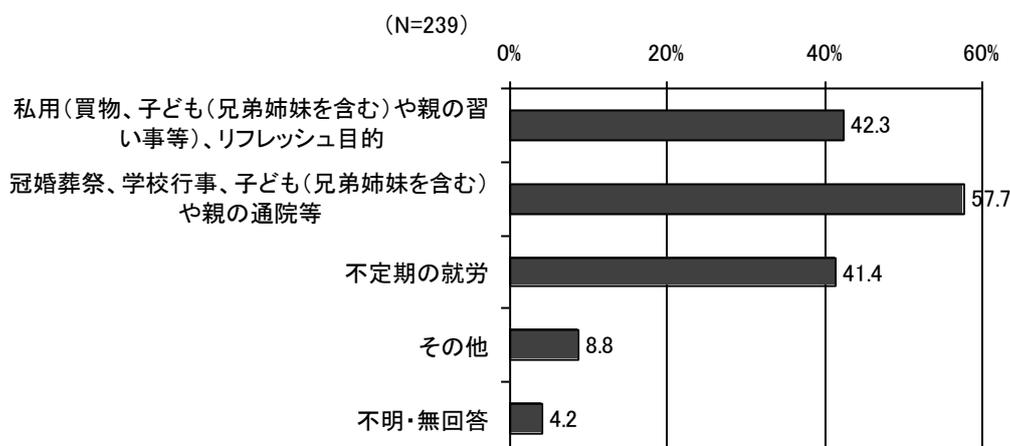
不定期的に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用する必要がある」が 26.6%、「利用する必要がない」が 65.7%となっています。

また、利用したい目的の内訳については、未就学児童、小学生児童ともに「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が 57.7%と最も高くなっています。次いで、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が 42.3%となっています。



(2)で「利用したい」を選んだ方

(2)① 利用したい目的の内訳〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 23／続き〕



(2)で「利用したい」を選んだ方

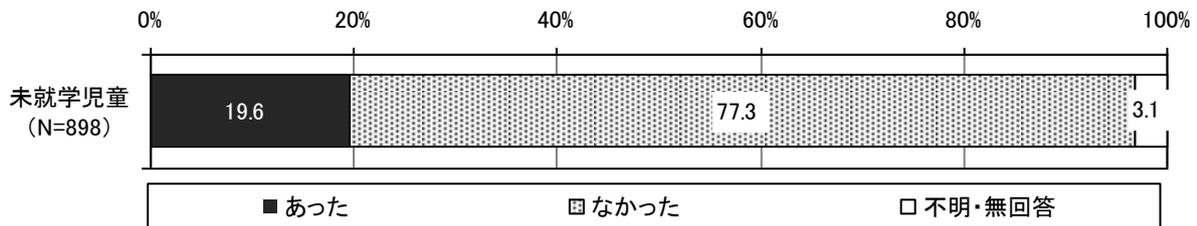
(2)② 利用したい年間日数〈数量回答〉〔未就学児童調査…問 23／続き〕

利用したい年間日数については、『私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的』、『冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等』、『不定期の就労』は「10～19日」の割合が高くなっています。

【未就学児童】 目的別の 利用日数	利用 合計 日数		リや(私 フ親兄用 レの弟(買 ッ習姉物 シい妹を ユ事を、 目等含子 的)むど 、)も		院妹事冠 等を、婚 等含子葬 むど祭)も、 や(学 親兄校 の弟行 通姉		不 定 期 の 就 労		そ の 他	
	N=239		N=101		N=138		N=99		N=21	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	0.4	2	2.0	10	7.2	5	5.1	1	4.8
2日	6	2.5	13	12.9	9	6.5	2	2.0	1	4.8
3日	13	5.4	8	7.9	22	15.9	5	5.1	2	9.5
4日	8	3.3	3	3.0	5	3.6	3	3.0	2	9.5
5日	26	10.9	8	7.9	16	11.6	15	15.2	2	9.5
6日	7	2.9	2	2.0	7	5.1	1	1.0	1	4.8
7日	6	2.5	1	1.0	3	2.2	1	1.0	1	4.8
8日	2	0.8	0	0.0	2	1.4	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	2	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	57	23.8	28	27.7	30	21.7	20	20.2	1	4.8
20～29日	28	11.7	7	6.9	7	5.1	4	4.0	4	19.0
30～39日	8	3.3	2	2.0	0	0.0	1	1.0	0	0.0
40～49日	10	4.2	5	5.0	0	0.0	4	4.0	0	0.0
50日以上	23	9.6	4	4.0	1	0.7	11	11.1	1	4.8
不明・無回答	44	18.4	16	15.8	26	18.8	27	27.3	5	23.8

(3) この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない経験の有無〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 24〕

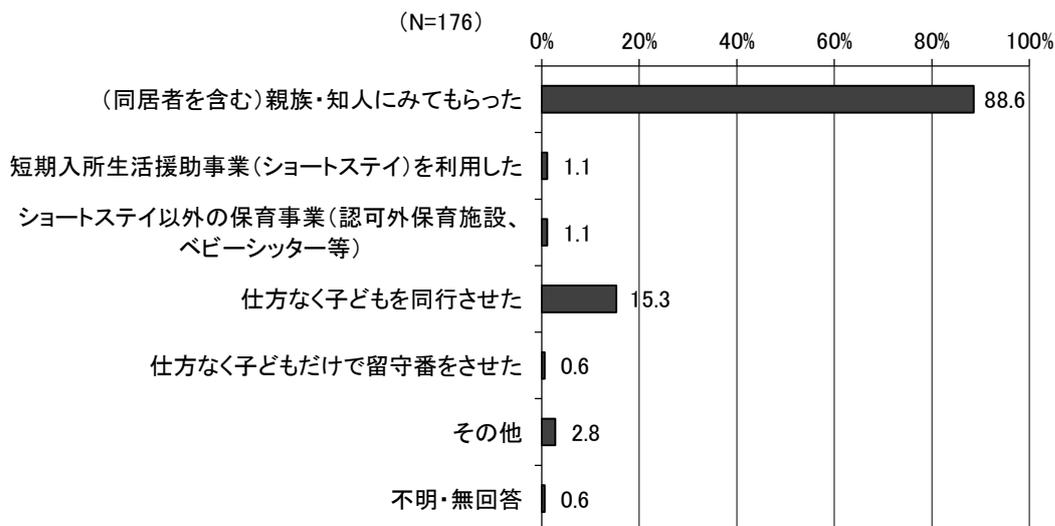
この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外に一時的に預けた経験の有無については、「あった」が19.6%、「なかった」が77.3%となっています。



(3) で「あった」を選んだ方

(3) ① 1年間の対処方法〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 24／続き〕

対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が88.6%と最も高くなっています。



(3)で「あった」を選んだ方

(3)② それぞれの日数〈数量回答〉〔未就学児童調査…問 24／続き〕

子どもを泊りがけで一時的に預けた際の泊数については、『(同居者を含む) 親族・知人に預けた』と『仕方なく子どもを同行させた』は「1泊」の割合が高くなっています。また、『短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した』は「1泊」、『認可外保育施設やベビーシッター等の保育事業を利用した』は「3泊」に、それぞれ1件の回答がありました。

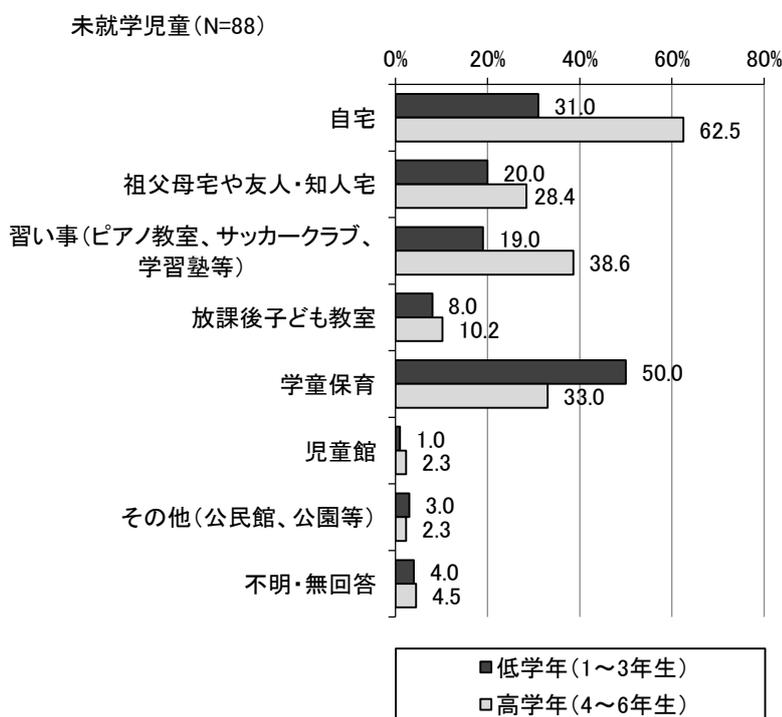
【就学前児童】 対処日数	にむ(同居者を含む) 預けた親族・知人 N=156		用ト助短期 入所生活 援助 事業 N=2		業タや認可 外保育施設 利用の保育 事業 N=1		も仕 同行なく させた ども N=27		さだ仕 せけ方 たく 留守 番ども N=1		そ の 他 N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	57	36.5	1	50.0	0	0.0	13	48.1	0	0.0	1	20.0
2泊	21	13.5	0	0.0	0	0.0	4	14.8	0	0.0	1	20.0
3泊	20	12.8	0	0.0	1	50.0	3	11.1	0	0.0	1	20.0
4泊	7	4.5	0	0.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0	1	20.0
5泊	14	9.0	0	0.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0	0	0.0
6泊	3	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	7	4.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8泊	1	0.6	0	0.0	0	0.0	1	3.7	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	20	12.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	6	3.8	1	50.0	1	50.0	4	14.8	1	100.0	1	20.0

5歳以上のあて名のお子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方（未就学児童）

（1）小学校のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 25、問 26〕

小学校のうちで、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、小学校低学年では、「学童保育」が50.0%と最も高く、次いで、「自宅」が31.0%となっています。

小学校高学年では、「自宅」が62.5%と最も高く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が38.6%となっています。



週あたりの利用希望日数については、小学校低学年では、『自宅』、『祖父母宅や友人・知人宅』、『放課後子ども教室』、『学童保育所』は「5日」、『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』、『児童館』は「1日」の割合が高くなっています。

小学校高学年では、『自宅』、『学童保育所』は「5日」、『祖父母宅や友人・知人宅』は「2日」と「5日」、『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」、『放課後子ども教室』で「1日」と「5日」、『児童館』は「1日」の割合が高くなっています。

■【小学校低学年】週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

【未就学児童】 小学校低学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		等 ク 教 習 （ ラ 室 い ） ブ 、 事 学 ツ ピ 習 カ ア 塾 ノ		教 放 室 課 後 子 ど も		学 童 保 育 所		児 童 館		館 そ 、 の 公 他 園 （ 公 等 民 ）	
	N=31		N=20		N=19		N=8		N=50		N=1		N=3	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	4	12.9	2	10.0	9	47.4	2	25.0	1	2.0	1	100.0	0	0.0
2日	4	12.9	4	20.0	7	36.8	0	0.0	1	2.0	0	0.0	2	66.7
3日	2	6.5	0	0.0	2	10.5	0	0.0	2	4.0	0	0.0	1	33.3
4日	1	3.2	4	20.0	0	0.0	0	0.0	4	8.0	0	0.0	0	0.0
5日	9	29.0	6	30.0	0	0.0	5	62.5	38	76.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	4.0	0	0.0	0	0.0
7日	3	9.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	8	25.8	4	20.0	1	5.3	1	12.5	2	4.0	0	0.0	0	0.0

■【小学校高学年】週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

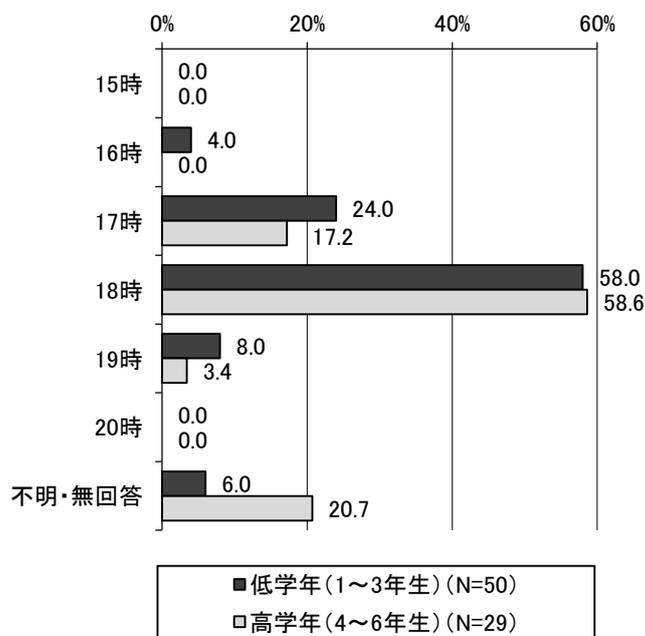
【未就学児童】 小学校高学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		等 ク 教 習 （ ラ 室 い ） ブ 、 事 学 ツ ピ 習 カ ア 塾 ノ		教 放 室 課 後 子 ど も		学 童 保 育 所		児 童 館		館 そ 、 の 公 他 園 （ 公 等 民 ）	
	N=55		N=25		N=34		N=9		N=29		N=2		N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	4	7.3	2	8.0	7	20.6	3	33.3	0	0.0	1	50.0	0	0.0
2日	5	9.1	6	24.0	14	41.2	0	0.0	2	6.9	0	0.0	1	50.0
3日	8	14.5	3	12.0	5	14.7	1	11.1	4	13.8	0	0.0	1	50.0
4日	4	7.3	4	16.0	0	0.0	0	0.0	3	10.3	0	0.0	0	0.0
5日	18	32.7	6	24.0	1	2.9	3	33.3	14	48.3	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	6.9	0	0.0	0	0.0
7日	2	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	14	25.5	4	16.0	7	20.6	2	22.2	4	13.8	1	50.0	0	0.0

(1) ① 「学童保育」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

[未就学児童調査…問 25、問 26／続き]

学童保育を選んだ方の利用希望時間については、小学校低学年、小学校高学年ともに「18時」が最も高く、それぞれ58.0%、58.6%となっています。

未就学児童



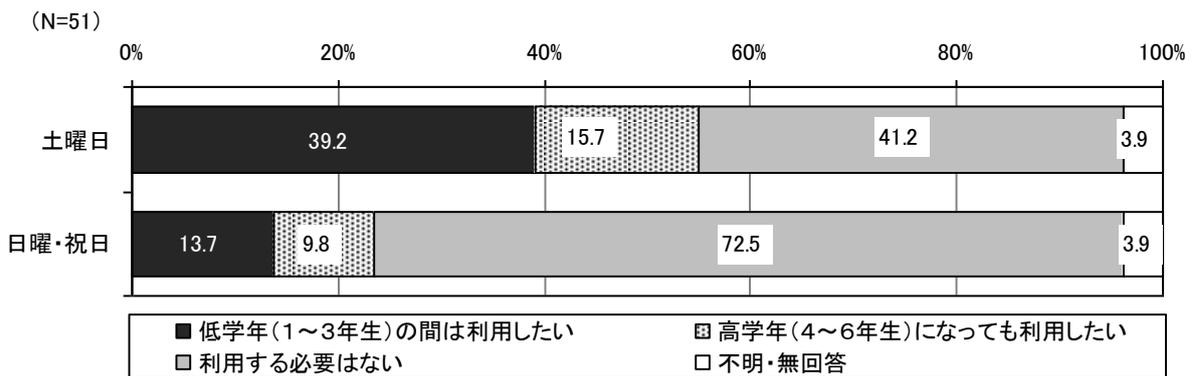
(1) で「学童保育」を選んだ方

(2) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望〈単数回答〉

[未就学児童調査…問 27]

学童保育の、土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 41.2%、72.5%となっていますが、土曜日は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせると 54.9%となり、半数を超えています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間は「8時」、終了時間は「18時」の割合が高くなっています。



(2) で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方

(2) ① 希望する利用時間帯〈数量回答〉 [未就学児童調査…問 27 / 続き]

■利用開始時間

【未就学児童】 利用開始 時間帯	利 学 土 用 童 曜 希 保 日 望 育 の の N=28		利 の 日 用 学 曜 希 童 日 望 保 ・ 育 祝 の 日 N=12	
	件数	%	件数	%
6時以前	0	0.0	0	0.0
7時	2	7.1	2	16.7
8時	21	75.0	10	83.3
9時	3	10.7	0	0.0
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	1	3.6	0	0.0
不明・無回答	1	3.6	0	0.0

■利用終了時間

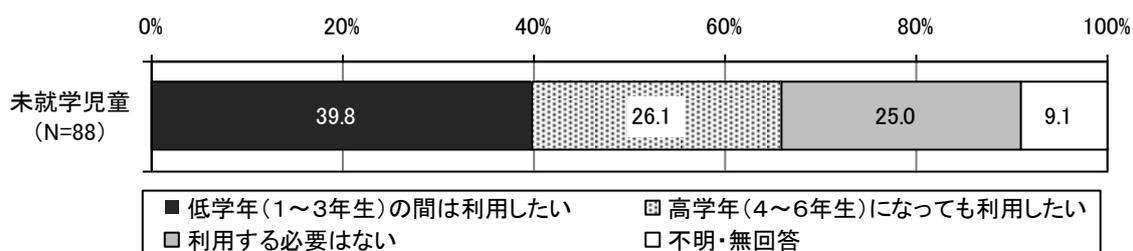
【未就学児童】 利用終了 時間帯	利 学 土 用 童 曜 希 保 日 望 育 の の N=28		利 の 日 用 学 曜 希 童 日 望 保 ・ 育 祝 の 日 N=12	
	件数	%	件数	%
12時以前	2	7.1	0	0.0
13時	3	10.7	0	0.0
14時	1	3.6	0	0.0
15時	1	3.6	0	0.0
16時	0	0.0	0	0.0
17時	3	10.7	2	16.7
18時	15	53.6	9	75.0
19時	2	7.1	1	8.3
20時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	3.6	0	0.0

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望

〈単数回答〉 [未就学児童調査…問 28]

長期の休暇期間中の学童保育の利用希望についてみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が39.8%と最も高く、次いで、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が26.1%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「8時」、終了時間では「18時」の割合が高くなっています。



(3) で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方

(3) ① 希望する利用時間帯〈数量回答〉 [未就学児童調査…問 28 / 続き]

■利用開始時間

【未就学児童】 利用開始 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=58	
	件数	%
6時以前	0	0.0
7時	1	1.7
8時	42	72.4
9時	14	24.1
10時	1	1.7
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時	0	0.0
14時以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

■利用終了時間

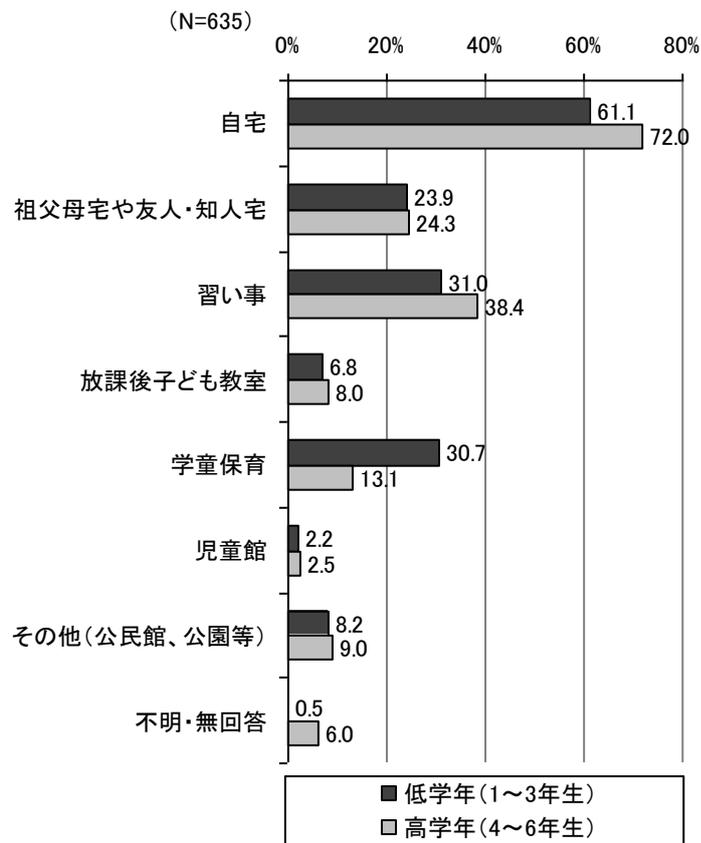
【未就学児童】 利用終了 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=58	
	件数	%
12時以前	0	0.0
13時	0	0.0
14時	1	1.7
15時	2	3.4
16時	5	8.6
17時	14	24.1
18時	34	58.6
19時	2	3.4
20時以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

あて名のお子さんの放課後の過ごし方（小学生児童）

（１）小学校低学年での、放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 16、問 17〕

放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方についてみると、小学校低学年、小学校高学年ともに「自宅」が最も高く、それぞれ 61.1%、72.0%となっています。次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が、それぞれ 31.0%、38.4%となっています。



週あたりの利用希望日数については、小学校低学年では、『自宅』、『祖父母宅や友人・知人宅』、『放課後子ども教室』、『学童保育所』は「5日」、『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）』で「2日」、『児童館』は「1日」の割合が高くなっています。

小学校高学年では、『自宅』、『学童保育所』は「5日」、『祖父母宅や友人・知人宅』は「1日」と「2日」、『習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）』は「2日」、『放課後子ども教室』、『児童館』は「1日」の割合が高くなっています。

■【小学校低学年】週あたりの利用日数〈数量回答〉

【小学生児童】 低学年週あたりの 利用日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		等 ク 教 習 （ ラ 室 い ） ブ 、 事 学 ツ ピ 習 カ ア 塾 ノ		教 放 室 課 後 子 ど も		学 童 保 育 所		児 童 館		館 そ 、 の 他 （ 公 民 ）	
	N=388		N=152		N=197		N=43		N=195		N=14		N=52	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	20	5.2	31	20.4	69	35.0	14	32.6	4	2.1	7	50.0	10	19.2
2日	45	11.6	23	15.1	79	40.1	1	2.3	7	3.6	1	7.1	17	32.7
3日	55	14.2	18	11.8	26	13.2	4	9.3	15	7.7	1	7.1	11	21.2
4日	47	12.1	12	7.9	13	6.6	3	7.0	25	12.8	1	7.1	2	3.8
5日	148	38.1	45	29.6	3	1.5	16	37.2	130	66.7	2	14.3	9	17.3
6日	6	1.5	7	4.6	1	0.5	0	0.0	4	2.1	0	0.0	0	0.0
7日	28	7.2	2	1.3	0	0.0	0	0.0	1	0.5	0	0.0	1	1.9
不明・無回答	39	10.1	14	9.2	6	3.0	5	11.6	9	4.6	2	14.3	2	3.8

■【小学校高学年】週あたりの利用日数〈数量回答〉

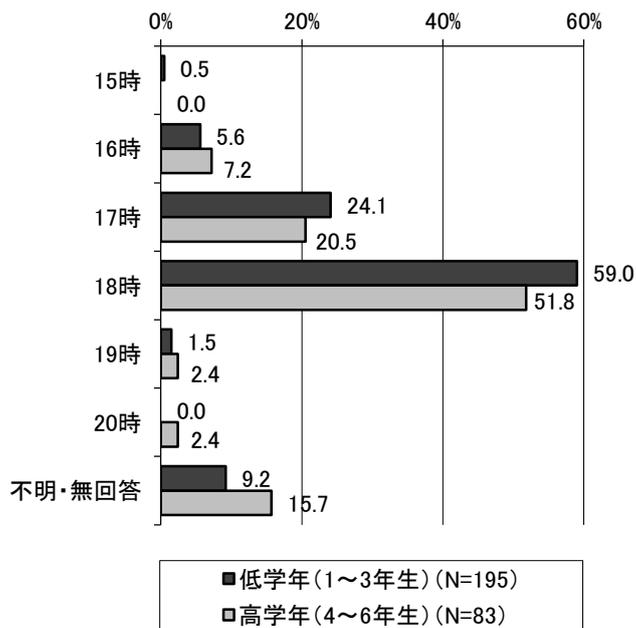
【小学生児童】 高学年週あたりの 利用日数	自宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		等 ク 教 習 （ ラ 室 い ） ブ 、 事 学 ツ ピ 習 カ ア 塾 ノ		教 放 室 課 後 子 ど も		学 童 保 育 所		児 童 館		館 そ 、 の 他 （ 公 民 ）	
	N=457		N=154		N=244		N=51		N=83		N=16		N=57	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	20	4.4	29	18.8	66	27.0	16	31.4	1	1.2	6	37.5	11	19.3
2日	53	11.6	29	18.8	106	43.4	6	11.8	4	4.8	2	12.5	20	35.1
3日	89	19.5	26	16.9	36	14.8	6	11.8	13	15.7	4	25.0	10	17.5
4日	42	9.2	13	8.4	15	6.1	2	3.9	5	6.0	0	0.0	3	5.3
5日	167	36.5	27	17.5	4	1.6	12	23.5	45	54.2	2	12.5	6	10.5
6日	9	2.0	7	4.5	1	0.4	1	2.0	4	4.8	0	0.0	0	0.0
7日	21	4.6	1	0.6	0	0.0	0	0.0	2	2.4	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	56	12.3	22	14.3	16	6.6	8	15.7	9	10.8	2	12.5	7	12.3

学童保育を選んだ方の利用希望時間については、小学校低学年、小学校高学年ともに「18時」が最も高く、それぞれ59.0%、51.8%となっています。

(1)で「学童保育」を選んだ方

(1)① 「学童保育」の利用時間(下校時から何時まで)〈数量回答〉

小学生児童

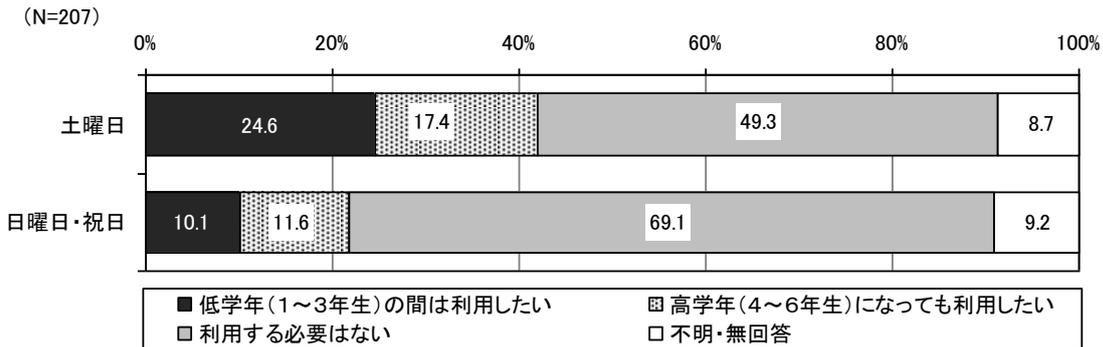


(1) で「学童保育」を選んだ方

(2) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 18〕

学童保育の、土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ 49.3%、69.1%となっていますが、土曜日は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせると 42.0% となり、4割を超えています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間は「8時」、終了時間は「18時」の割合が高くなっています。



(2) で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方

(2) ① 希望する利用時間帯〈数量回答〉〔小学生児童調査…問 18／続き〕

■利用開始時間

【小学生児童】 利用開始 時間帯	利学土 用童曜 希保日 望育の の N=87		利の日 用学曜 希童日 望保・ 育祝 の日 N=45	
	件数	%	件数	%
6時以前	0	0.0	0	0.0
7時	1	1.1	1	2.2
8時	58	66.7	33	73.3
9時	20	23.0	11	24.4
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	1	1.1	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	4	4.6	0	0.0
不明・無回答	3	3.4	0	0.0

■利用終了時間

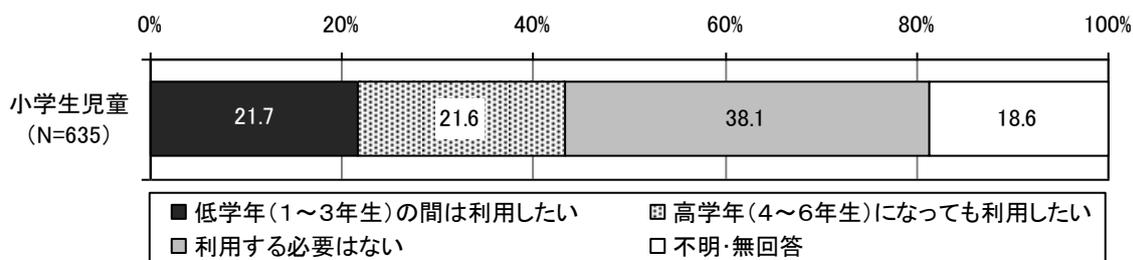
【小学生児童】 利用終了 時間帯	利学土 用童曜 希保日 望育の の N=87		利の日 用学曜 希童日 望保・ 育祝 の日 N=45	
	件数	%	件数	%
12時以前	7	8.0	1	2.2
13時	6	6.9	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	1.1	0	0.0
16時	4	4.6	2	4.4
17時	20	23.0	14	31.1
18時	47	54.0	27	60.0
19時	0	0.0	0	0.0
20時以降	1	1.1	1	2.2
不明・無回答	1	1.1	0	0.0

(3) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望

〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 19〕

長期の休暇期間中の学童保育の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が38.1%と最も高くなっていますが、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」と「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を合わせると43.3%となり、4割を超えています。

希望する利用時間帯について、開始時間では「8時」、終了時間では「18時」の割合が高くなっています。



(3)で「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方

(3) ① 希望する利用時間帯〈数量回答〉〔小学生児童調査…問 19／続き〕

■利用開始時間

【小学生児童】 利用開始 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=275	
	件数	%
6時以前	0	0.0
7時	4	1.5
8時	182	66.2
9時	77	28.0
10時	1	0.4
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時	3	1.1
14時以降	1	0.4
不明・無回答	7	2.5

■利用終了時間

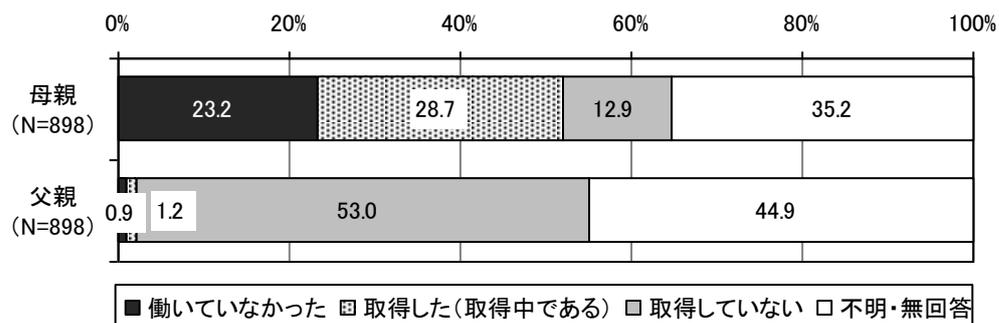
【小学生児童】 利用終了 時間帯	のみ夏 休な休 暇どみ 期の・ 間長冬 中期休 N=275	
	件数	%
12時以前	10	3.6
13時	0	0.0
14時	1	0.4
15時	6	2.2
16時	20	7.3
17時	72	26.2
18時	151	54.9
19時	5	1.8
20時以降	3	1.1
不明・無回答	7	2.5

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度（未就学児童）

（１）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 29〕

子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「取得した（取得中である）」が28.7%、父親では「取得していない」が53.0%と、それぞれ最も高くなっています。

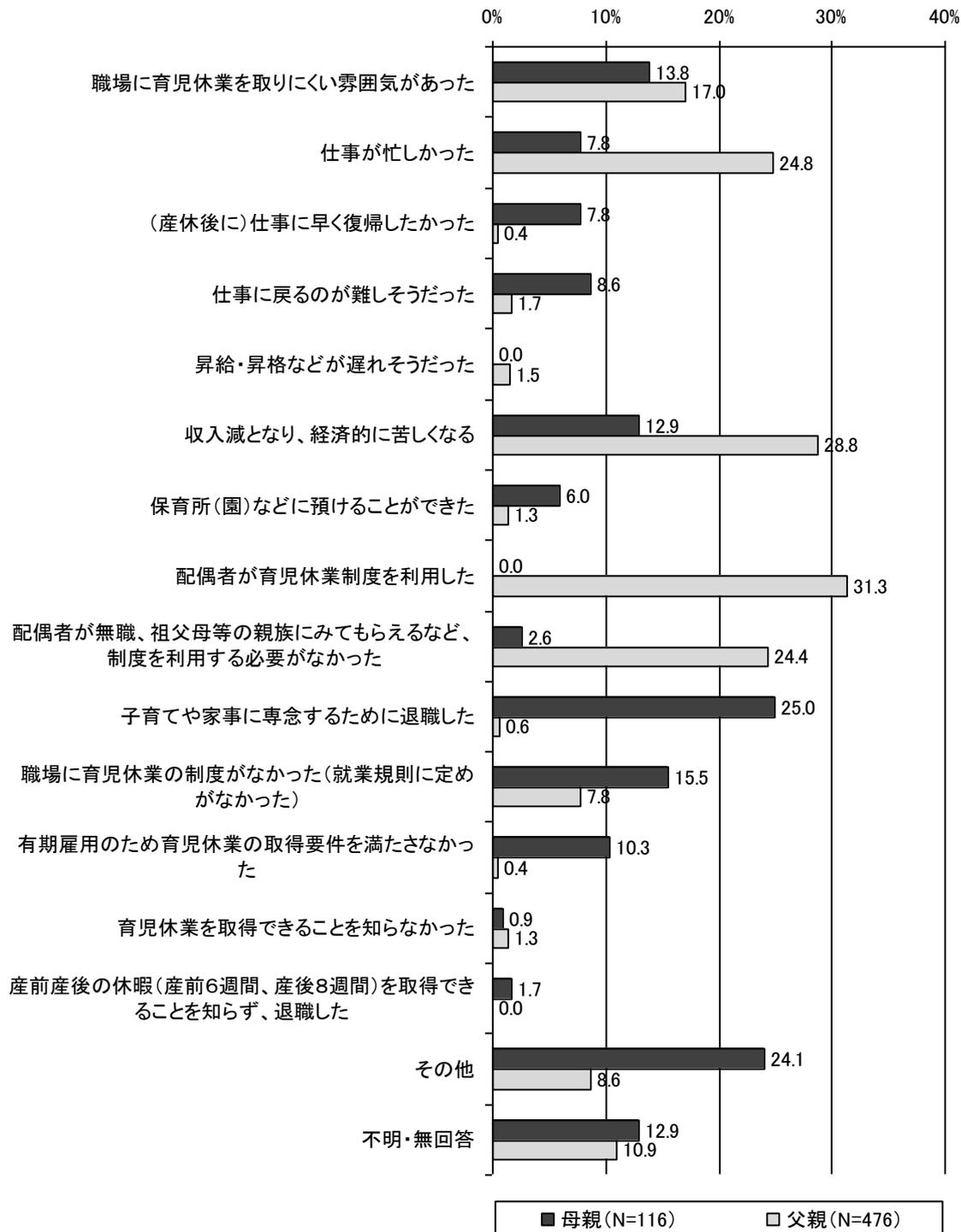
また、父親の「取得した（取得中である）」は1.2%となっています。



(1)で「取得していない」を選んだ方

(1)① 取得していない理由〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 29／続き〕

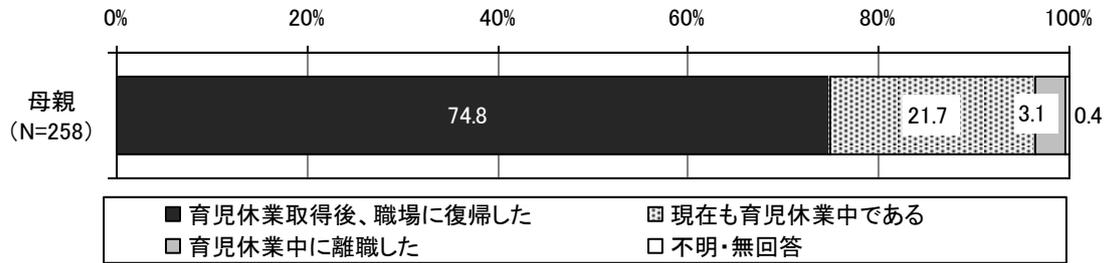
育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が25.0%で最も高く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が15.5%となっています。父親では「配偶者が育児休業制度を利用した」が31.3%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.8%となっています。



(1)で「取得した(取得中である)」を選んだ方

(1) - 1 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 29-1〕

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親、父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も高くなっています。

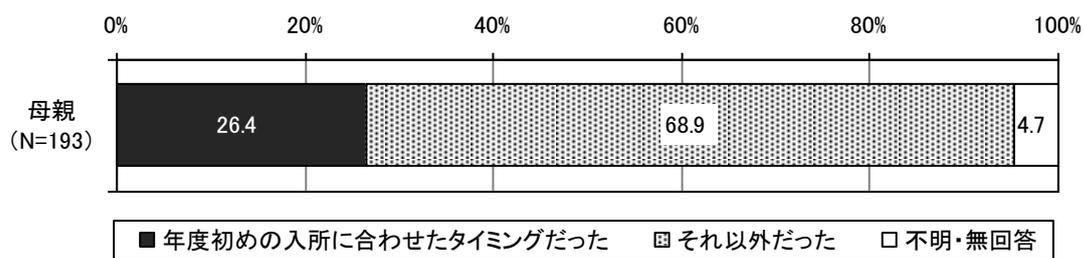


【父親】 職場への復帰状況	未就学児童 N=11	
	件数	%
育児休業取得後、職場に復帰した	8	72.7
現在も育児休業中である	0	0.0
育児休業中に離職した	1	9.1
不明・無回答	2	18.2

(1) - 1で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(1) - 2 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか
〈単数回答〉〔未就学児童調査…問 29-2〕

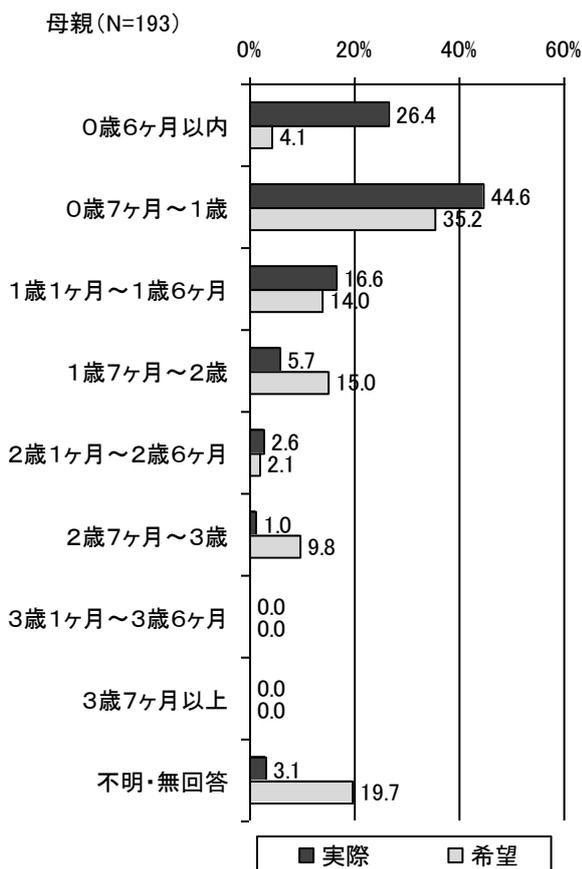
職場復帰の時期が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が26.4%、「それ以外だった」が68.9%となっています。また、父親では「それ以外だった」に8件の回答がありました。



【父親】 育児休業復帰のタイミング	未就学児童 N=8	
	件数	%
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	0	0.0
それ以外だった	8	100.0
不明・無回答	0	0.0

**(1) - 3 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したか。
また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取得し
たかったか〈数量回答〉**〔未就学児童調査…問 29-3〕

育児休業から、実際に子どもが何歳何ヶ月のときに職場復帰したかについてみると、母親では実際、希望ともに「0歳7ヶ月～1歳」が最も高く、それぞれ44.6%、35.2%となっています。また、父親では、実際と希望で「0歳6ヶ月以内」に、それぞれ8件と4件の回答がありました。

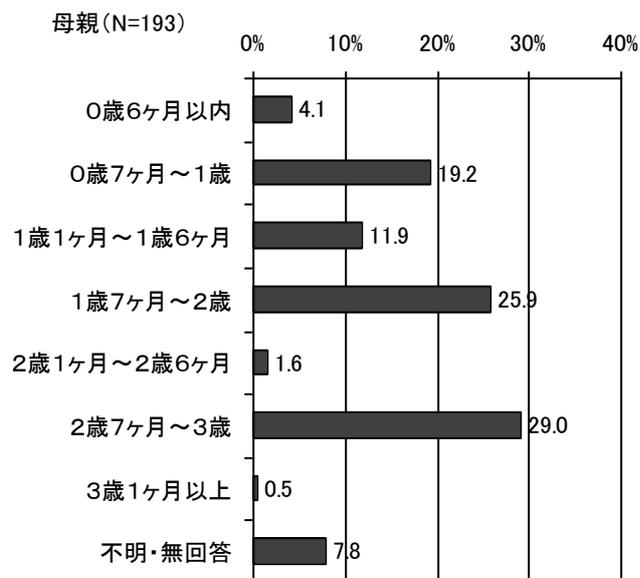


【父親】 育児休業 取得期間	実際 N=8		希望 N=8	
	件数	%	件数	%
0歳6ヶ月以内	8	100.0	4	50.0
0歳7ヶ月～1歳	0	0.0	0	0.0
1歳1ヶ月～1歳6ヶ月	0	0.0	0	0.0
1歳7ヶ月～2歳	0	0.0	0	0.0
2歳1ヶ月～2歳6ヶ月	0	0.0	0	0.0
2歳7ヶ月～3歳	0	0.0	0	0.0
3歳1ヶ月～3歳6ヶ月	0	0.0	0	0.0
3歳7ヶ月以上	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	4	50.0

(1) - 4 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったか〈数量回答〉

[未就学児童調査…問 29-4]

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何ヶ月のときまで取得したかったかについてみると、母親では「2歳7ヶ月～3歳」が29.0%と最も高くなっています。父親では「0歳6ヶ月以内」に6件の回答がありました。



【父親】 育児休業を取得 したかった子ども年齢	就学前児童 N=8	
	件数	%
0歳6ヶ月以内	6	75.0
0歳7ヶ月～1歳	0	0.0
1歳1ヶ月～1歳6ヶ月	0	0.0
1歳7ヶ月～2歳	0	0.0
2歳1ヶ月～2歳6ヶ月	0	0.0
2歳7ヶ月～3歳	0	0.0
3歳1ヶ月以上	0	0.0
不明・無回答	2	25.0

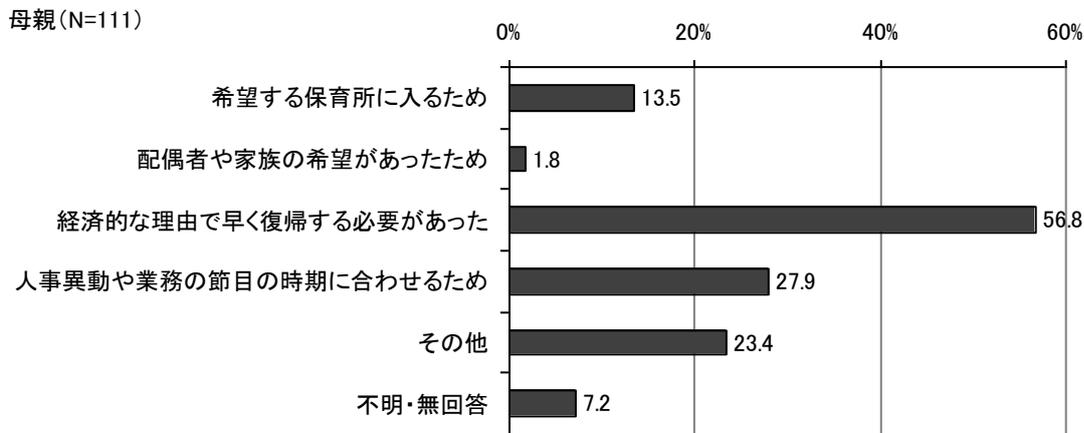
(1) - 3で実際の復帰と希望が異なる方

(1) - 5 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔未就学児童調査…問 29-6〕

育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親で『希望』より早く復帰した方では、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が56.8%と最も高く、次いで、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が27.9%となっています。

また、母親で『希望』より遅く復帰した方では、「希望する保育所に入れなかったため」と「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」に2件、「自分や子ども等の体調が思わしくなかったため」と「配偶者や家族の希望があったため」に1件の回答がありました。

(1) - 5① 「希望」より早く復帰した方



※【父親】「その他」に1件の回答がありました。

(1) - 5② 「希望」より遅く復帰した方

【母親】 「希望」より遅く復帰した方	就学前児童 (N=7)	
	件数	%
希望する保育所に入れなかったため	2	28.6
自分や子ども等の体調が思わしくなかったため	1	14.3
配偶者や家族の希望があったため	1	14.3
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	2	28.6
子どもをみてくれる人がいなかったため	0	0.0
その他	0	0.0
不明・無回答	3	42.9

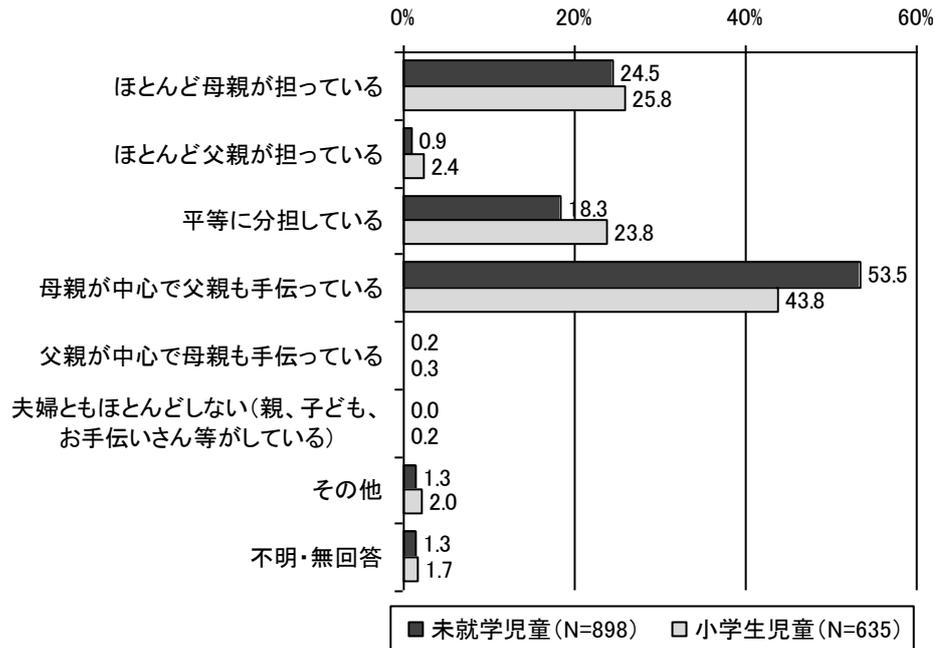
※【父親】回答はありませんでした。

子育て全般について

(1) 子育てに関する父親と母親の役割〈単数回答〉

[未就学児童調査…問 30、小学生児童調査…問 20]

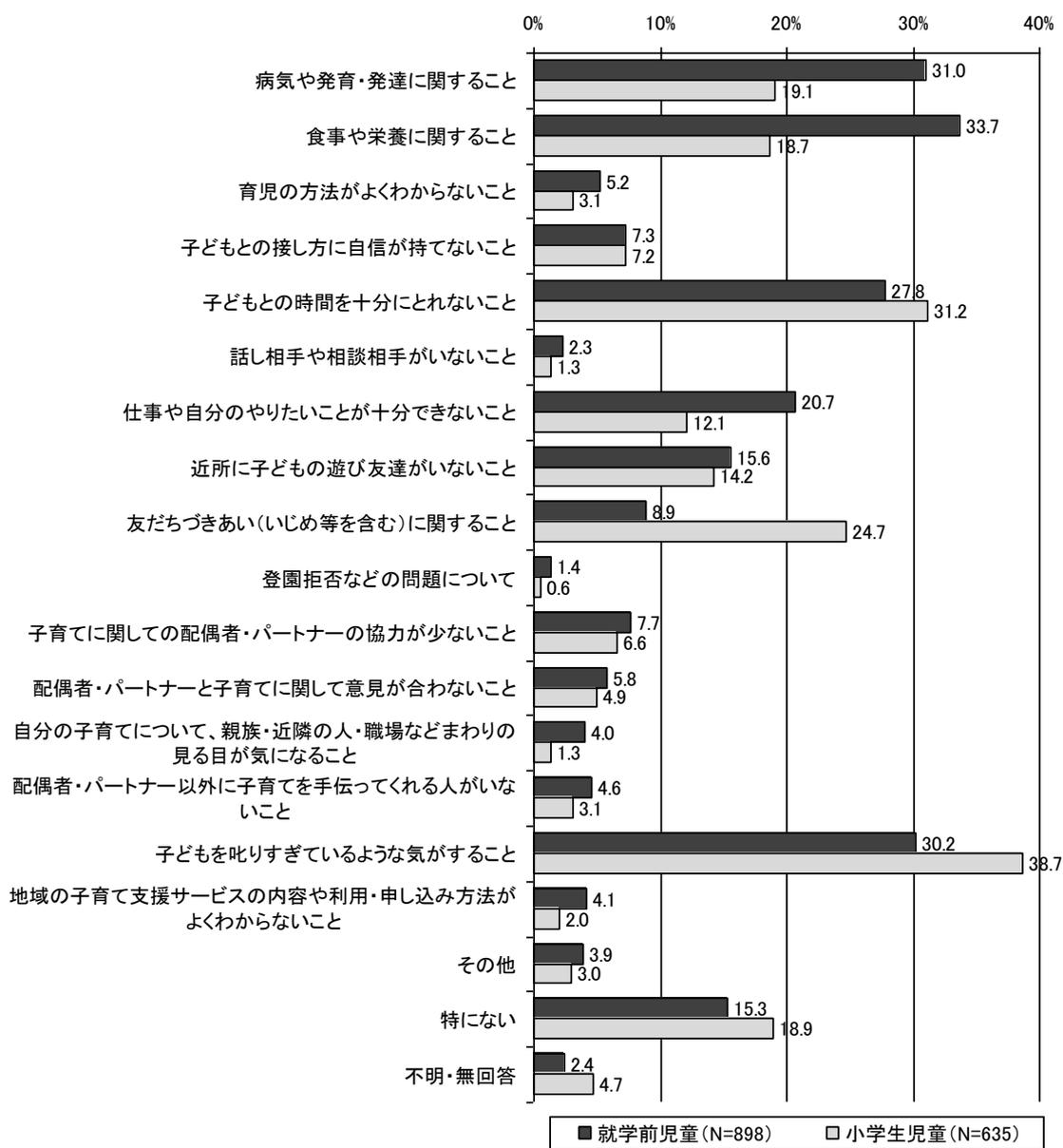
子育てに関する父親と母親の役割についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「母親が中心で父親も手伝っている」が最も高く、それぞれ 53.5%、43.8%となっています。次いで、「ほとんど母親が担っている」が、それぞれ 24.5%、25.8%となっています。



(2) 子育てに関して日頃悩んでいること、気になること〈複数回答〉

〔未就学児童調査…問 31、小学生児童調査…問 21〕

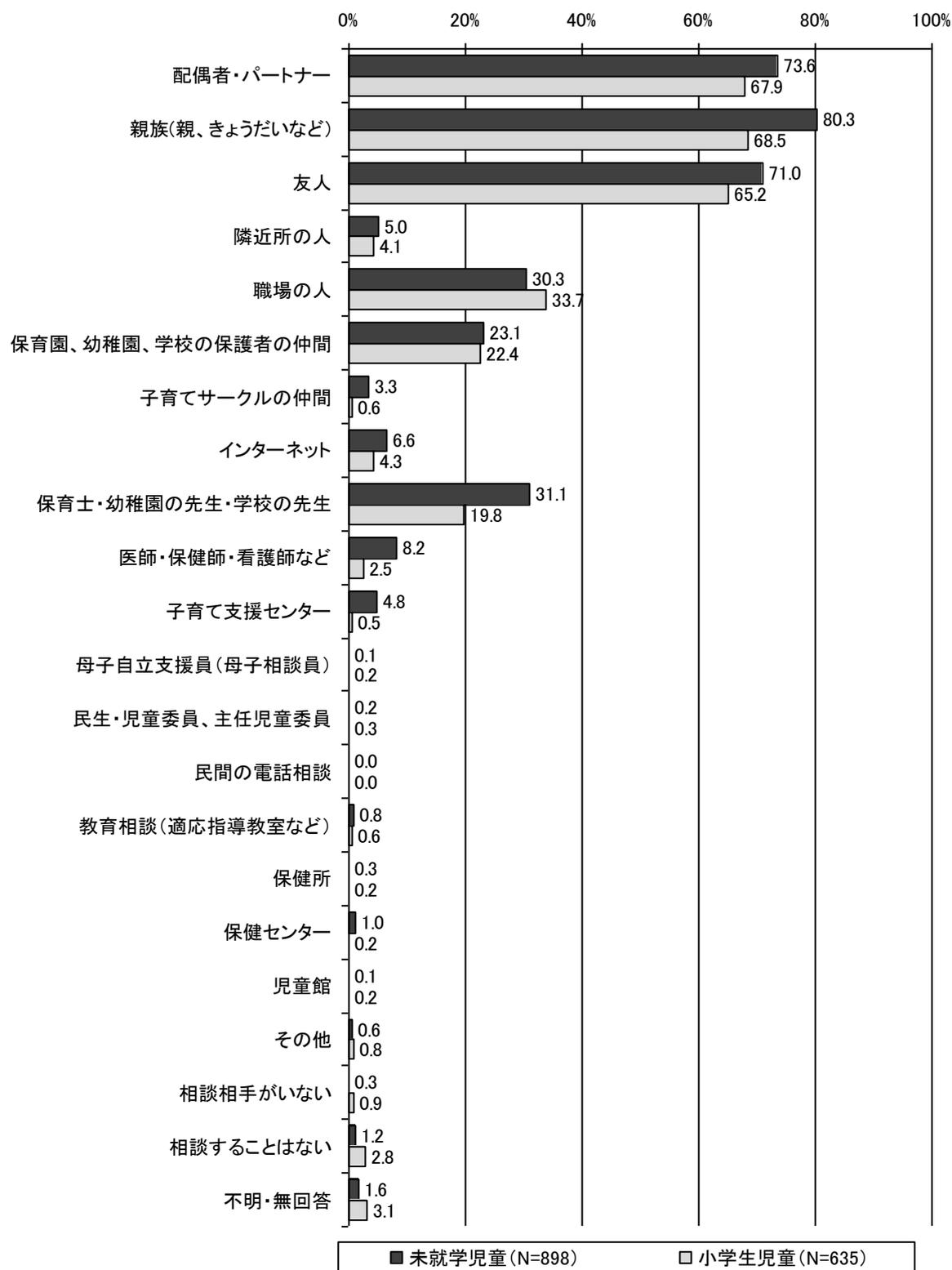
子育てに関して日頃悩んでいること、気になることについてみると、未就学児童では「食事や栄養に関すること」が33.7%と最も高く、次いで、「病気や発育・発達に関すること」が31.0%となっています。小学生児童では「子どもを叱りすぎているような気がする」が38.7%と最も高く、次いで、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が31.2%となっています。



(3) 子育てに関する悩みや不安の相談相手〈複数回答〉

〔未就学児童調査…問 32、小学生児童調査…問 22〕

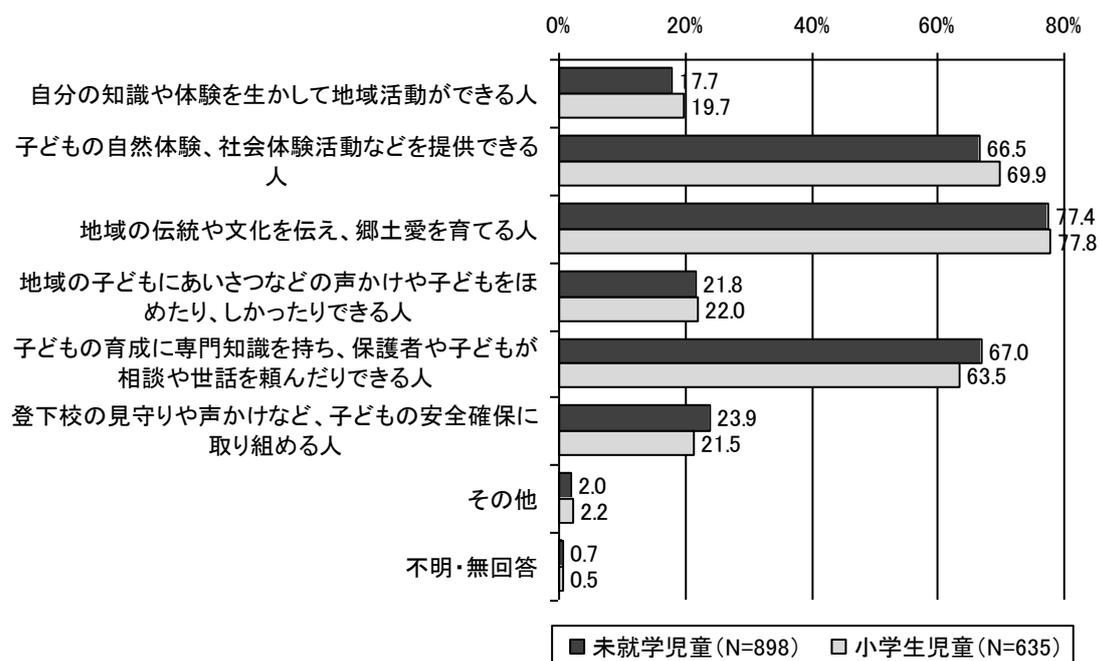
子育てに関する悩みや不安の相談相手についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「親族(親、きょうだいなど)」が最も高く、それぞれ80.3%、68.5%となっています。次いで、「配偶者・パートナー」がそれぞれ73.6%、67.9%となっています。



(4) 子どもの育成支援をするために地域に必要な人材〈複数回答〉

〔未就学児童調査…問 33、小学生児童調査…問 23〕

子どもの育成支援をするために地域に必要な人材についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「地域の伝統や文化を伝え、郷土愛を育てる人」が最も高く、それぞれ 77.4%、77.8%となっています。次いで、未就学児童では「子どもの育成に専門知識を持ち、保護者や子どもが相談や世話を頼んだりできる人」が 67.0%、小学生児童では「子どもの自然体験、社会体験活動などを提供できる人」が 69.9%となっています。

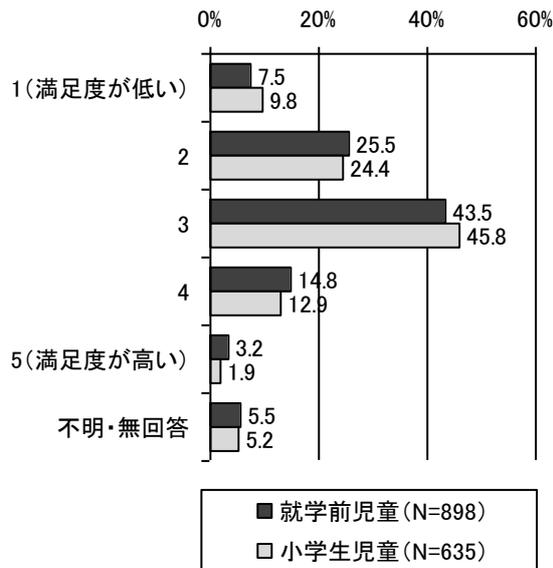


行政への要望について

(1) 子育て環境や支援の満足度〈単数回答〉

〔未就学児童調査…問 34、小学生児童調査…問 24〕

子育て環境や支援の満足度についてみると、未就学児童、小学生児童ともに「3」が最も高く、それぞれ 43.5%、45.8%となっています。次いで、「2」がそれぞれ 25.5%、24.4%となっています。



四万十市 子育てに関するニーズ調査 【結果報告書】

発行年月：平成 26 年 3 月

発 行：四万十市

編 集：四万十市福祉事務所 保育所係

〒 787-8501 高知県四万十市中村大橋通

4-10

T E L : 0880-34-1780

F A X : 0880-34-1880
